



M0086999-04 (ja)
2018年 10月
(日本語版 2018年 10月)



取扱説明書

Caterpillar ショートボディ ラジオ

L66 1-UP (車両)
L77 1-UP (車両)
L88 1-UP (車両)
H66 1-UP (車両)
H77 1-UP (車両)
H88 1-UP (車両)
L22 1-UP (車両)
H24 1-UP (車両)
H22 1-UP (車両)
H26 1-UP (車両)
L24 1-UP (車両)

安全について

車両の運転、整備、修理時に発生する事故の大部分は、安全確保のための基本的なルールや注意事項を守らなかったことが原因となっています。事故の多くは、あらかじめ考えうる危険状況を認識することによって未然に防ぐことができるものです。作業者は、安全に影響を及ぼす恐れのある人的要因を含む、潜在的な危険に注意しなければなりません。整備作業者はこれらの作業を適切に行うために正しい工具と技術を使用し、専門の訓練を受けていなければなりません。

不適切な方法で車両の運転、給脂、整備または修理を行うことは危険で、重傷事故または死亡事故を招く恐れがあります。

本製品の運転、潤滑、メンテナンス、修理については、その作業の実施が許可されており、運転、潤滑、メンテナンス、および修理に関する情報を読んで理解していることを確かめるまで行わないでください。

本書および車両上には安全上の注意事項が記載されています。これらに留意しないと、作業員自身または周囲の人たちが死亡または重傷を負う可能性があります。

これらの危険は「安全に注意を集中させるシンボル」およびそこに含まれる「標語」、「危険」、「警告」または「注意」で識別されています。例えば次に示す「警告」で目立つように説明されています。



この安全警告記号は次のことを意味します。

要注意、危険防止、安全第一。

このシンボルに続いて、予想される危険の内容が説明文または図によって示されます。

製品を損傷する恐れのある運転操作については、製品上および本書内で「注意」ラベルにより明示されている箇所に記載されています（このリストはすべてを網羅するものではありません）。

どこにどんな危険があるかを完全に予知することは、Caterpillarにとって困難な問題です。したがって本書および車両に貼付したラベルに記載されている警告の内容も、必ずしもすべての場合を説明している訳ではありません。作業場所特有の規則や諸注意等、その使用場所で本製品を運転する際に適用されるすべての安全上の規則や注意事項に関して考慮したと確信できない場合は、本書の記載と異なる方法で本製品を使用しないでください。Caterpillarが特に推奨していない工具、作業手順、作業方法、操作技術を使用する場合には、整備作業者は自分自身および周囲の人たちの安全を十分に確かめなければなりません。また、その作業の実施が許可されており、使用する予定の運転、潤滑、メンテナンス、修理の手順によって、本製品が損傷したり、安全性が損なわれたりしないことを確認する必要があります。

本書の説明、整備基準、および写真やイラストは、本書を作成した時点で利用し得た情報にもとづいています。整備基準、締付けトルク、圧力、寸法、調整方法、写真やイラスト等は常に変更されることがあります。これらの変更は、製品の整備作業に影響を与えることがあるので、実施しようとする整備作業について必要な情報を漏れなく集め、最新情報は、Catディーラーから入手できます。



本製品の交換部品が必要になった場合は、Caterpillarでは当社の交換部品を使用することを推奨しています。

この警告に従わない場合、早期段階での不具合、製品の損傷、作業員の重傷事故または死亡事故などを招く恐れがあります。

アメリカ合衆国では、排出ガス制御装置およびシステムのメンテナンス、交換または修理は、所有者の選択によって、修理施設または所有者個人で実施される場合があります。

目次

はじめに	4
安全上の基本的注意事項	
安全上の基本的注意事項	5
車両の一般情報	
車両識別情報	6
運転操作編	
作動	9
索引編	
索引	45

はじめに

サービス資料の内容

本書は、資料ホルダに保管する。

本書には、安全、運転操作および保守整備に関する情報が記載されている。

本書に使用した一部の写真またはイラストの詳細またはアタッチメントは、使用される製品と異なることがあります。

当社は常に製品の改良および向上を実施しているので、本書の発行時期の関連でそれらの変更が反映されていないことがある。本書をよく読み、内容を理解してください。本書は製品と共に保管してください。

使用される製品および本書に関する質問については、最寄りのCatディーラに最新情報をお問い合わせください。

安全について

安全編には、安全に関する基本的な注意事項が説明されている。同じく本項では、当該製品で使用されている警告標識やラベルの記載内容およびその位置についても説明しています。

作動

本項は、運転操作の初心者および熟練オペレータの再教育用として使用します。運転操作編には、ゲージ、スイッチ、車両コントロール、アタッチメントコントロールおよびプログラミング手順についての説明がある。

写真およびイラストは、車両の点検、始動、運転および停止の正しい手順を示しています。

本書に示した運転操作は基本的なものである。運転操作の熟練度および技術は、オペレータが車両およびその性能について理解するのに従って向上する。

保守整備編

保守整備編は車両整備の手引書である。

安全上の基本的注意事項

i07549060

安全上の基本的注意事項

SMCSコード: 7606



警告

取扱説明書の説明と警告をよく読み理解するまでは、この装置の運転や整備などの作業をしてはなりません。説明に従わない場合や警告を無視した場合、重傷事故または死亡事故が生じる恐れがある。交換マニュアルについては、Caterpillarディーラにお問い合わせください。適正な維持管理を行うことは自己責任である。

前書き

本書は対象機器の取扱説明書を補足するものです。常に対象機器の取扱説明書と一緒に本書を保管してください。

Introduction

この文書は、Caterpillar AM/FMラジオシステムの操作に関する情報を提供します。

対象機器の取扱説明書の指示および警告を読み、それらの指示および警告を理解していなければ、機器の操作およびメンテナンスを行ってなりません。この文書の内容を理解してから、Caterpillar AM/FMラジオシステムを搭載する機器を操作する必要があります。

警告および遵守

この製品をお買い上げいただきありがとうございます。このマニュアルを注意深く読んでから操作してください。またこのマニュアルは、今後の参照用に保存しておいてください。

注意事項

- ・ マイナス接地の12 V DC電気システムでのみ使用してください。
- ・ このユニットを搭載および接続している間は、車両のバッテリーマイナスターミナルを切り離してください。
- ・ ヒューズを交換する際は、必ず同じアンペア定格のものを使用してください。
- ・ アンペア定格が高いヒューズを使用すると、このユニットに深刻な損傷が発生する恐れがあります。

- ・ ピンまたは障害物がこのユニットの内部に入らないようにしてください。ピンや障害物は、誤作動、もしくは感電などの安全上の問題を引き起こす恐れがあります。
- ・ 高温または低温の環境で車両を長時間駐車していた場合、車両の温度が常温になるまで待機してから、このユニットを操作してください。

運転準備

ボリュームを高く上げすぎないでください。ボリュームは、外の警告音（ホーン、サイレン等）が聞こえるくらいのレベルに維持してください。

複雑な作業を実施する前には、車両を停止させてください。

注意

カバーを開けたり修理したりしないでください。お近くの認定ディーラに支援を依頼してください。

注記:モデルによって、接続するワイヤリングハーネスが異なります。個々の内容の規定については、型式ラベルを参照してください。

注記:技術的な向上のため、仕様および設計を予告なく変更する場合があります。

取扱説明書（OMM, Operation and Maintenance Manuals）は現在、http://www.cat.com/en_US/support/operations/technology/product-link-owners-manuals.htmlから入手できます。

この製品の使用中に直接インターネットにアクセスできない場所にある機器または携帯機器については、紙のOMMを印刷して製品と一緒に備えておく必要があります。

詳細または紙のOMMについては、次のURLで最寄りのCatディーラを探してご連絡ください：www.cat.com/en_US/support/dealer-locator.html

車両の一般情報

車両識別情報

i07549061

法規制の順守

SMCSコード: 7606

FCC情報

この機器は、FCC規則のパート15に準拠しています。動作は、以下の2つの条件に従います。

- ・ この機器が有害な干渉を引き起こしません。
- ・ この機器が、望ましくない動作の原因となる恐れがある干渉を含め、受信するあらゆる干渉をすべて受け入れる必要があります。
- ・ ユーザが準拠責任者の明確な承認を受けていない変更または改造を行った場合、この機器を使用するユーザの権利が無効になる場合があります。

注記:この機器は試験され、FCCルールのPart 15に従って、クラスBデジタル装置の制限に適合していることが証明されています。この規制は、個人の家に取り付けた場合に有害な障害に対して適正な保護を提供するように設定されています。

この機器は無線周波を受信し、無線周波エネルギーを発する場合があります。指示に従わない、ラジオの不適切な取付けおよび不適切な使用は、無線通信に有害な干渉を起こす場合があります。それでも、特定の設定で電磁干渉が発生しないという保証はありません。この機器が無線またはテレビの受信に有害な干渉を起こしている場合、機器の電源を切ったり入れたりすることで干渉を確認できます。次の1項目以上の方策により、ユーザが干渉の是正を試みることを奨励します。

- ・ 受信アンテナの方向と設置場所を変更します。
- ・ 機器と受信機の間隔を広げます。
- ・ 機器を受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに接続します。

- ・ ディーラまたは無線/テレビの専門技術者に相談します。

FCCに関する注意事項

次の注意事項を提供します。

改造に関する声明

Caterpillarは、ユーザによるこの装置に対するいかなる変更または改造も認めません。変更または改造があった場合は、ユーザの機器を操作する権利は無効となります。

放射線被ばく

この装置は、非管理環境について規定されたFCC放射線被ばく限度に適合し、FCCの電波 (RF, radio frequency) 被ばくガイドラインに適合しています。この機器は、ラジエータおよび人体から20 cm以上離れた場所に設置して使用する必要があります。

無線周波数範囲

以下に記されているDriver Safety System (ドライバ安全システム) 通信装置の仕様は、関連する危険評価の実施に役立て、現地のあらゆる法規を遵守するためのものです。

このラジオは、ベルギーにおいて、無線スペクトルの使用に適用される要件を侵害することなく作動できるように構成されています。

表 1

Bluetooth	
出力	4 dBm (クラス2)
周波数バンド	2.4000 GHz ~ 2.4835 GHz (ISMバンド)
範囲	10 m (フリースペース)
標準	Bluetooth 2.0仕様

順守宣言

SMCSコード: 7606

以下に2つの適合宣言書が示されています。

表 2

CATERPILLAR® EU適合宣言書

この適合宣言書は、製造者の単独の責任の下で発行されます。

代表署名製造者:

Caterpillar社

100 N. E. Adams

Peoria, IL 61629

USA

以下、この製品について宣言します。この記述の対象:

Caterpillarエンターテインメントラジオ

ブランド:

Caterpillar

部品番号: **525-1508**

モデル: Caterpillarショートボディユーティリティラジオ

アンテナ: 8E-1118

上記の製品は、該当するEU調和規制: 指令2014/53/EUおよび指令2011/65/EUに適合しています。

適合は、次の文書の該当する要件を遵守することで示します。

適合施評価手順: ___ Annex II, ___ X ___ Annex III, ___ Annex IV

2014/53/EU	LVD (Sec 3. 1a) :	EN 60065:2014
		EN 62479:2010
	EMC (Sec 3. 1b) :	EN 301 489-1 V2. 2. 0
		EN 301 489-17 V3. 2. 0
RF (Sec 3. 2)	EN 300 328 V2. 1. 1	
	EN 303 345 V1. 1. 7 (最終案)	
2011/65/EU	RoHS	EN 50581:2012

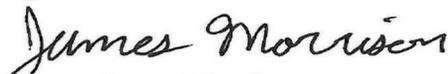
表 3

公認機関名: Siemic Inc.

公認機関番号: 2200

検査証明番号: RE17101308

Signature:



Name: James Morrison

Title: Engineering Manager - 3

Place: Mossville, IL

Date: 10/2/2018

順守宣言

表 4

CATERPILLAR®
EU適合宣言書

この適合宣言書は、製造者の単独の責任の下で発行されます。

代表署名製造者:

Caterpillar社

100 N. E. Adams

Peoria, IL 61629

USA

以下、この製品について宣言します。この記述の対象:

Caterpillarエンターテインメントラジオ

ブランド:

Caterpillar

部品番号: 524-3711

モデル: Caterpillarショートボディユーティリティラジオ
(DAB)

アンテナ: 525-7960

上記の製品は、該当する欧州連合 (EU) 調和規制: 指令2014/53/EUおよび指令2011/65/EUに適合
しています。

適合は、次の文書の該当する要件を遵守することで示します。

適合施評価手順: Annex II, X Annex III, Annex IV

2014/53/EU	LVD (Sec 3. 1a) :	EN 60065:2014 EN 62479:2010
	EMC (Sec 3. 1b) :	EN 301 489-1 V2. 2. 0 EN 301 489-17 V3. 2. 0
	RF (Sec 3. 2)	EN 300 328 V2. 1. 1 EN 303 345 V1. 1. 7 (最終案)
2011/65/EU	RoHS	EN 50581:2012

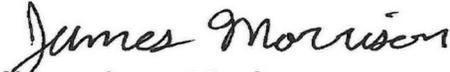
表 5

公認機関名: MiCOM Labs Inc.

公認機関番号: 2280

検査証明番号: DONG59/23 Jul 2018/Rev A

Signature:



Name: James Morrison

Title: Engineering Manager - 3

Place: Mossville, IL

Date: 10/2/2018

運転操作編

作動

i07549063

ラジオ (娯楽用, 装着の場合)

SMCSコード: 7338

⚠ 注意

運転中は、常に視線を道路から外さず、手はステアリングホイール上に保持し、通常の運転に必要な操作に集中するようにしてください。運転者には、車両の安全な運転を継続する責任が課されています。運転中に道路への視線の維持およびステアリングホイール上で手の保持を怠ると、自分自身や第三者に危害が及ぶ可能性があります。

Introduction

このオーナーズマニュアルに記載の情報は、発行の時点で正確なものです。ただしCaterpillarは、仕様および性能を予告なく変更する権利を留保します。印刷の時点以降に行われた変更に関する詳細については、お近くのディーラにお問い合わせください。

ラジオシステムを操作するには、ボタン、RSA (Rear Seat Audio, リアシートオーディオ), またはステアリングホイールコントロールを使用します。

ステレオレシーバ



図 3

g06244205

ラジオ/USB MP3/USB/DAB+/DAB/Bluetoothレシーバ

ラジオのピン配列

ラジオのピン配列は次に示すとおりです。



Pin No	Note	Pin No	Note
3	Telephone mute low	9	Rear R+
4	Ignition	10	Rear R-
5	Antenna Remote	11	Front R+
6	Illumination	12	Front R-
7	Battery+	13	Front L+
8	Power Ground	14	Front L-
21	SWRC+	15	Rear L+
22	SWRC GND	16	Rear L-
23	Left AUX Input	25	AUX GND
24	AUX Shield GND	26	Right AUX Input
31	Mic+	32	Mic-

一般的なラジオレシーバの機能

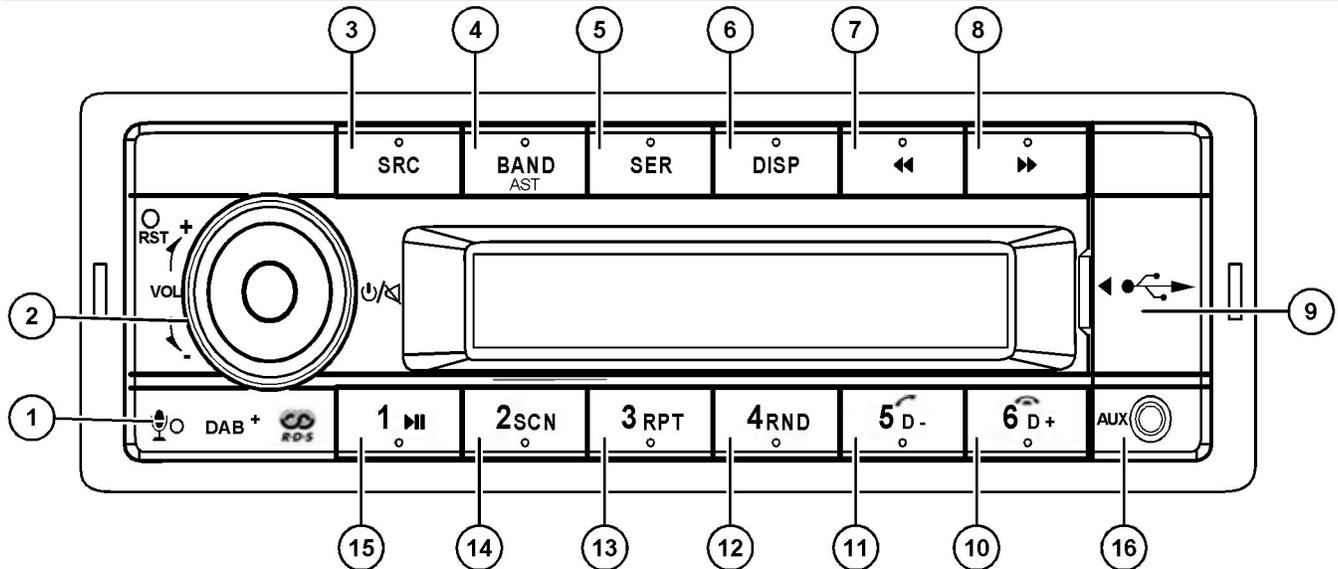


図 5

g06247166

- | | | |
|---------------------------|------------------------|---------------------------|
| (1) マイクホン | (7) PREV (前へ) | (13) MP3リピート再生 |
| (2) 電源ON/OFF/ミュート | (8) 次に進むボタン | (14) イン트로再生プログラム (SCAN) |
| (3) 電源ボタン | (9) USBスロット | (15) MP3/Bluetooth再生/一時停止 |
| (4) バンド/ASTボタン | (10) MP3フォルダを進める/電話を切る | (16) フロント補助入力 |
| (5) ソース (SRC) ボタン | (11) MP3フォルダ戻る/電話をとる | |
| (6) DISP (ディスプレイ) 再生/一時停止 | (12) MP3ランダム再生 | |

オプション

- ・ AM 1バンド、AMプリセット数6局
- ・ FM 3バンド、合計FMプリセット数18局
- ・ 気象 (WX) 1バンドプリセット、WXプリセット数6局

基本操作

電源ON/OFF/ミュート

ラジオをオンにするには、電源ON/OFFボタンを押します。ラジオをオフにするには、電源ON/OFFボタンを2秒間以上押します。電源ON/OFFボタンを2秒間未満押すと、ラジオがミュートされます。

イグニッションロジック

イグニッションロジックが有効 (デフォルト設定) になっている場合、車両のイグニッションピンが接続されていなくてもラジオをオンまたはオフに切り替えることができます。バッテリーの放電を避けるため、ラジオはユーザが操作しなくても1時間後にオフになります。

システムの設定

システム設定メニューは、[DISP]ボタンを長押しすることで呼び出されます。利用可能なメニュー項目にアクセスするには、検索ボタン[<</>>]を押します。各メニュー項目の利用可能オプションを選択するには、[VOL]ノブを回します。

ソース (SRC) ボタン

[SRC]ボタンを押して、利用可能なソースを次のように切り替えて、選択します: TUNER->USB->AUX F->AUX R->Bluetooth->DAB (DAB機能に適用)。USBとBluetoothは接続されているときにのみメニューに表示されます。

受信エリア

このラジオは、異なる周波数範囲が使用されている異なる地域で利用できるように設計されています。受信エリアはシステム設定メニューを通じて調節できます。

次のエリアを選択できます。

- ・ EUROPE (ヨーロッパ)
- ・ ASIA (アジア)
- ・ JAPAN (日本)

- ・ North Africa（北アフリカ）
- ・ United States of America (USA)（米国）

時計設定

時計の時刻は，[DISP]ボタンを長押しして時間を設定することでマニュアル調節できます。

検索ボタン[<</>>]を使用して[CLOCK]を選択します。[SEL]ボタンを押し，[VOL]ノブを回して分を調節します。

ボリュームノブ/OK

ボリュームを調節するには，[VOL]ノブを回します。

事前設定されたサウンドエフェクト

ラジオは事前に設定された異なるサウンドエフェクトを提供します。[SEL]ボタンを押し，サウンド設定メニューを呼び出します。[VOL]ノブを回して次のオプションのいずれかを選択します：EQ OFF → POP → ROCK → CLASSIC → JAZZ → CUSTOM。

バランス フェードとラウドネス

バランス，フェーダー，ラウドネスを調節するには，[SEL]ボタンを押し，[<</>>]ボタンを押し，BALANCE（バランス）→ FADER（フェーダー）→ LOUDNESS（ラウドネス）を選択します。[VOL]ノブを回して，バランス，フェード，ラウドネスを必要に合わせて調節します。

マニュアルサウンド調節

マニュアルサウンド調節を行うには，最初にCUSTOM（カスタム）を選択します。[SEL]ボタンを再度押し，[<</>>]を使ってBASS（低音）またはTREBLE（高音）を選択します。[VOL]ノブを回して，BASS およびTREBLEを必要に合わせて調節します。

注記：デフォルト設定

AM/FMラジオ

AM/FMラジオにアクセスするには，[SRC]ボタンを押し，Tuner（チューナ）を選択します。

バンド選択

[BAND]ボタンを押し，利用可能なラジオバンドのいずれかを選択します。ラジオバンドは次の順に変更されます：FM1 → FM2 → FM3 → AM1 → AM2

注記：AMバンドは，システム設定メニューを通じてユーザが操作することで無効にできます。

自動チューニング

自動チューニングを行うには，[<</>>]ボタンを押し，ラジオが次の受信可能なラジオ局を探して選択します。

Traffic Announcement（交通情報通知）が有効になっている場合（“TA=ON”）は，交通情報を放送する局のみがチューニングの対象になります。

マニュアルチューニング

マニュアル操作でラジオ局を選択するには，[<</>>]ボタンを2秒間以上押します。“MANUAL”とディスプレイに表示されます。再度[<</>>]ボタンを押すと，周波数が徐々に増加/減少します。

お気に入りのマニュアル保存

FM局18，AM局12のお気に入り保存用バンクが用意されています。保存先にするお気に入りバンクを選択し，そこに保存するラジオ局にチューニングします。プリセットボタンを2秒間以上押すと，その局が保存されます。

保存されたお気に入りの呼出し

保存されたお気に入りの呼び出すには，そのお気に入りに対応するプリセットボタンを押します。

自動メモリ保存

最も良い状態で受信できる局を探してお気に入りとして保存するには，[BAND/AST]ボタンを2秒間押し，ラジオは受信状態が最も良い局を探し，それらの局を保存します。

RDS（ラジオデータシステム）

ヨーロッパの多くのFM局は，音声プログラムに加えてRDS（ラジオデータシステム）データを送信します。

RDSによって，ユーザは以下のメリットを得られます。

- ・ 選択された局の最良の可聴周波数（AF）に自動的にチューニングが行われるため，最良の受信クオリティが得られます。最良の可聴周波数の自動選択を有効にするには，設定メニューで“AF=ON”を選択します。
- ・ ラジオが交通情報通知（Traffic Announcement）を認知し，別のオーディオソースが選択されている場合でもラジオに切り替えることができます。自動交通情報通知を有効にするには，設定メニューで“TA=ON”を選択します。
- ・ ラジオ局によっては地域特定のプログラムを提供しています。地域（REG）機能を使用すると，選択された地域プログラムを送信する周波数だけをフォローすることができます。地域プログラムをフォローするには，設定メニューで“REG=ON”を選択します。
- ・ ラジオ局の名前を表示できます。

注記：詳しい設定についてはSystem Menu（システムメニュー）を確認してください。

プログラムタイプ (PTY)

多くの国のFM局はRDSシステムを通じて、放送されているプログラムのタイプ (Program Type, PTY) を送信しています。

視聴したいプログラムタイプを探すには、[SRC]を約2秒間押し、[VOL]ノブを回してプログラムタイプを選択します。ラジオは、[SEL]ボタンが押されると、選択されたプログラムタイプを持つラジオプログラムを探します。“PTY SEEK”とディスプレイに表示されます。

選択されたプログラムタイプを持つ局が見つからない場合は、最後にチューニングされた局が選択され、“NO PTY”とディスプレイに表示されます。

以下のプログラムタイプを利用できます。

- ・ NEWS (ニュース)
- ・ AFFAIRS (話題)
- ・ INFO (情報)
- ・ SPORTS (スポーツ)
- ・ EDUCATE (教育)
- ・ DRAMA (ドラマ)
- ・ CULTURE (文化)
- ・ SCIENCE (科学)
- ・ VARIED (バラエティ)
- ・ POP-M (ポップミュージック)
- ・ ROCK-M (ロックミュージック)
- ・ EASY-M (イージーリスニング)
- ・ LIGHT-M (ライトミュージック)
- ・ CLASSICS-M (クラシックミュージック)
- ・ OTHER-M (その他ミュージック)
- ・ WEATHER (天気)
- ・ FINANCE (ファイナンス)
- ・ CHILDREN (子ども番組)
- ・ SOCIAL (社会)
- ・ RELIGION (宗教)
- ・ PHONE IN (視聴者電話参加番組)
- ・ 走行
- ・ LEISURE (レジャー)
- ・ JAZZ (ジャズ)
- ・ COUNTRY (カントリー)
- ・ NATIONAL-M (ナショナルミュージック)
- ・ OLDIES (オールディーズ)
- ・ FOLK-M (フォークミュージック)
- ・ DOCUMENT (ドキュメンタリー)
- ・ テスト
- ・ アラーム

DABラジオ (DAB機能に適用)

DAB/DAB+はラジオ番組をデジタルサウンドクオリティで提供します。

DABラジオ選択

デジタルオーディオ放送 (DAB, Digital Audio Broadcast) にアクセスするには、[SRC]ボタンを押して、DABを選択します。

DABサービスSCAN

受信可能なDABサービスを探すには、[BAND/AST]を2秒間押して、DABサービスSCANを開始する必要があります。“SCAN”とディスプレイに表示されます。

DABサービスにチューニングする

DABサービスにチューニングするには、[<</>>]を押して次の/前のDABサービスを選択します。“Tuning”とディスプレイに表示されます。

DABのお気に入りの保存

3つのDABお気に入り保存用バンドを利用できます。[BAND]ボタンを押して、利用可能なDABバンドの1つを選択します。DABバンドは次の順に変更されません。

- ・ DAB1 →
- ・ DAB2 →
- ・ DAB3

プリセットボタンを2秒間以上押して、目的の局を保存します。

保存されたお気に入りの呼出し

保存されたお気に入りの呼び出すには、それに対応するプリセットボタンを押します。

DABサービスリスト

受信可能なDABサービスの概要を把握するのに、DABサービスリストを表示できます。

[SEL]を2秒間押して、DABサービスリストを開きます。[VOL]ボタンを回して受信可能な局のリストをスクロールします。

運転操作編 娯楽用，装着の場合

DABサービスの1つにチューニングするには，[SEL]を押します。“Tuning”とディスプレイに表示されます。

あるサービスが一時的に受信できない場合は，“No Service”とディスプレイに表示されます。

DABとFM間の切替え

DAB信号のクオリティが大幅に低下した場合は，FMに切り替えてFM放送を通じてそのサービスを視聴します。

DABとFM間の切替え (DABFMLNK) はシステム設定メニューを通じて無効にすることができます。

USB/MP3/WMA

MP3とはMPEG Audio Layer 3の略で，音声圧縮規格の1つを指します。この製品ユニットではMP3ファイルの再生が可能です。ただしこのユニットは“.mp3”以外のファイル拡張子が付いたMP3ファイルを読み込むことはできません。また，“.mp3”拡張子の付いた非MP3のファイルを再生すると，ノイズが聞こえる場合があります。このマニュアルでは，PC用語で“MP3ファイル”および“フォルダ”と呼ばれるものは，それぞれ“トラック”および“アルバム”と表記されています。ディレクトリおよびファイルの最大数は，ルートディレクトリを含めて65,535です。フォルダあたりのファイルの最大数は1,000です。ユニットは，トラック番号の順にトラックを再生するとはかぎりません。8~320 kbpsのビットレートと，VBR (可変ビットレート) に対応しています。

注記:5~384 kbpsのビットレートと，VBR (可変ビットレート) に対応しています。

USB

USB機能の (フラッシュメモリタイプ) MP3ミュージック再生:

- ・ USBフラッシュメモリ2 in 1サポート
- ・ FAT 12/FAT 16/FAT 32形式に対応
- ・ ファイル名: 64バイト / ディレクトリ (DIR) 名: 64バイト / タグ名: 30バイト
- ・ タグ (id3 tag ver 2.0) - タイトル/アーティスト/アルバム: 32バイトに対応
- ・ USB 1.1サポート，USB 2.0サポート (2.0の場合，速度性能はUSB 1.1)

注記:すべてのUSBデバイスについて，このユニットとの互換性があるわけではありません。USBコネクタは500 mAでの最大作動力をサポートできます。

USBデバイスのロード/取外しと機能

USBデバイスをUSBスロットに挿入すると，“Reading” (読み込み中) とディスプレイに表示されます。その後すぐにMP3のプレイバックが開始します。

USBデバイスを取り外す前に，[SRC]ボタンを押して別のソースに切り替えます。

USBデバイスには以下の機能があります。

- ・ **MP3プレイバック/一時停止** MP3プレイバックを一時停止および再開するには，[1>]ボタンを押します。
- ・ **次/前のMP3トラック** 次/前のトラックを選択するには，[>II]ボタンを押します。
- ・ **早送り/早戻し** 現在のトラックを早送り/早戻しするには，[>II]ボタンを2秒間以上押します。
- ・ **ランダム再生** ランダム再生を起動するには，[4 RND]ボタンを押します。
- ・ **リピート** [3 RPT]ボタンを押して，トラックリピート/ディレクトリリピート/すべてリピートを起動します。
- ・ **SCAN** スキャン機能を起動/停止するには，[2 SCN]ボタンを押します。スキャンモードでは，すべてのタイトルが10秒間再生されます。

Bluetooth

Bluetoothは，車両のビルトインオーディオシステムを，ワイヤレスでのモバイル電話または音楽のハンズフリー通信に利用できるようにします。一部のBluetooth対応モバイル電話にはオーディオ機能があり，また一部のポータブルオーディオプレイヤーはBluetooth機能に対応します。このシステムは，Bluetooth対応オーディオデバイスに保存されたオーディオデータを再生できます。Bluetooth付き車両ステレオでは，モバイル電話の連絡先情報，受信コール，送信コール，不在着信コール，着信コール，発信コールを取得することができ，同時に音楽を聴くことができます。

注記:Bluetoothハンズフリーのマイクを風の通り道，たとえばエアコンの吹出し口などに置かないでください。そのような場所にマイクを置くと，誤作動が生じる可能性があります。

注記:また，マイクを直射日光の当たる場所や高温の場所に置いた場合も，歪みや変色が生じ，結果的に誤作動が生じる可能性があります。

注記:このシステムは，一部のBluetoothオーディオプレイヤーとはまったく機能しないか，正しく機能しない場合があります。

注記:すべてのモバイル電話について，このシステムとの互換性は保証されてはいません。

注記:オーディオプレイバックの音量は，通話時に設定された音量レベルに設定されます。通話時に過剰な音量レベルが設定された場合，オーディオの音量が問題となる可能性があります。

ハンズフリー操作

ペアリング:

1. モバイル電話のBluetooth機能をオンにします。
2. モバイル電話のBluetooth設定メニューに移動します。
3. 新しいBluetoothデバイスを探します。
4. モバイル電話のペアリングリストから、Bluetooth "Cat Radio" デバイスを選択します。
5. パスワードとして "1234" を入力します (パスワードのデフォルト設定は "1234" です)。

注記: ペアリングが成功すると、BTアイコンとHPFアイコンが点灯します。A2DPが接続されると、A2DPアイコンが点灯します。

ダイヤル番号

液晶画面にダイヤル情報が表示されます。

ユニットのダイヤル:

1. [SRC] ボタンを押してBT/Audio (Bluetooth/オーディオ) モードに切り替えます。
2. [5 D+] を押して、DIAL ON機能を選択します。
[SEL] ボタン / [<</>>] ボタンを押し、ノブを回してダイヤル番号を入力します。

コール転送

ハンズフリーコールとモバイル電話コールを切り替えることができます。通話中に [5 /] ボタンを押します。

コールに応答する

[5 /] ボタンを押すことで、着信コールに応答することができます。[6 /] ボタンを押せば、着信コールを拒否できます。

オーディオストリーミング

オーディオストリーミングはオーディオデータ転送する方法です。オーディオストリーミングは一定の連続したストリームとして処理できます。ユーザは、外部のオーディオプレーヤーからこのシステムのステレオに、ワイヤレスで音楽をストリームし、スピーカを通じてトラックを聴くことができます。提供されているワイヤレスオーディオストリーミングトランスミッタの詳細については、最寄りのディーラに相談してください。

注記: オーディオストリーミング実行中は、接続されたモバイル電話の操作を避けてください。モバイル電話を操作すると曲のプレイバックにノイズや途切れが生じる可能性があります。オーディオストリーミングは、電話による中断があった後、再開する場合もしない場合もあります。これは使用されているモバイル電話によります。オーディオストリーミングの接続が切れると、このシステムは常にラジオモードに戻ります。操作を進める前に、必ず「ペアリング」の章を読んでください。

BT/Audio (Bluetooth/オーディオ) モード (A2DP)

- ・ **プレイバック/一時停止** プレイバックを一時停止および再開するには、[1>] ボタンを押します。
- ・ **次/前のトラック** 次/前のトラックを選択するには、[<</>>] ボタンを押します。

注記: 再生の順序はBluetoothオーディオプレーヤーによります。[>II] ボタンが押されると、一部のA2DPデバイスは、プレイバックの時間によって、現在のトラックを始めから再生します。ミュージックストリーミングプレイバック中は、“A2DP and HFP” とディスプレイに表示されます。A2DPデバイスの接続が外されると、“DISCONN” とディスプレイに表示されます。一部のBluetoothオーディオプレーヤーでは、再生/一時停止がこのユニットと連動していない場合があります。デバイスとメインユニットの両方が、BT/Audioモードで同じ再生/一時停止状態になっていることを確認してください。

照度低下

ディスプレイとボタンの照度を落とすことができます。このラジオはマニュアル操作または自動で照度を落とすことができます。設定メニューで“DIMMING” (照度低下) を選択し、次のオプションのいずれかを選択します。

1. “OFF” を選択して照度低下を無効にします。
2. ラジオが車両の照明ピンに接続されていないときは、“Manual” (マニュアル) 照度低下を選択します。
3. ラジオが車両の照明ピンに接続されているときは、“Auto” (自動) 照度低下を選択します。

輝度調節

ディスプレイおよびボタンの輝度を好みの設定に調節したい場合は、マニュアルモードを選択します。

Manual (マニュアル) 照度低下を選択して、ディスプレイとボタンの輝度を調節します。

DAY/Night（日中/夜間）選択

DIMMANを選択し，“DIMDAY”または“DIMNIGHT”を選択することで日中モードと夜間モードを切り替えます。

ディスプレイとボタンの夜間輝度の調節

ディスプレイとボタンの夜間輝度を調節するには，“DIMNIGHT”を選択します。“DIM DISP”を選択して，ディスプレイの輝度を調節します。“DIMNIGHT”を選択して，ボタンの輝度を調節します。

ディスプレイとボタンの日中輝度の調節

ディスプレイとボタンの日中輝度を調節するには，“DIMDAY”を選択します。“DIM DISP”を選択して，ディスプレイの輝度を調節します。“DIM KEY”を選択して，ボタンの輝度を調節します。

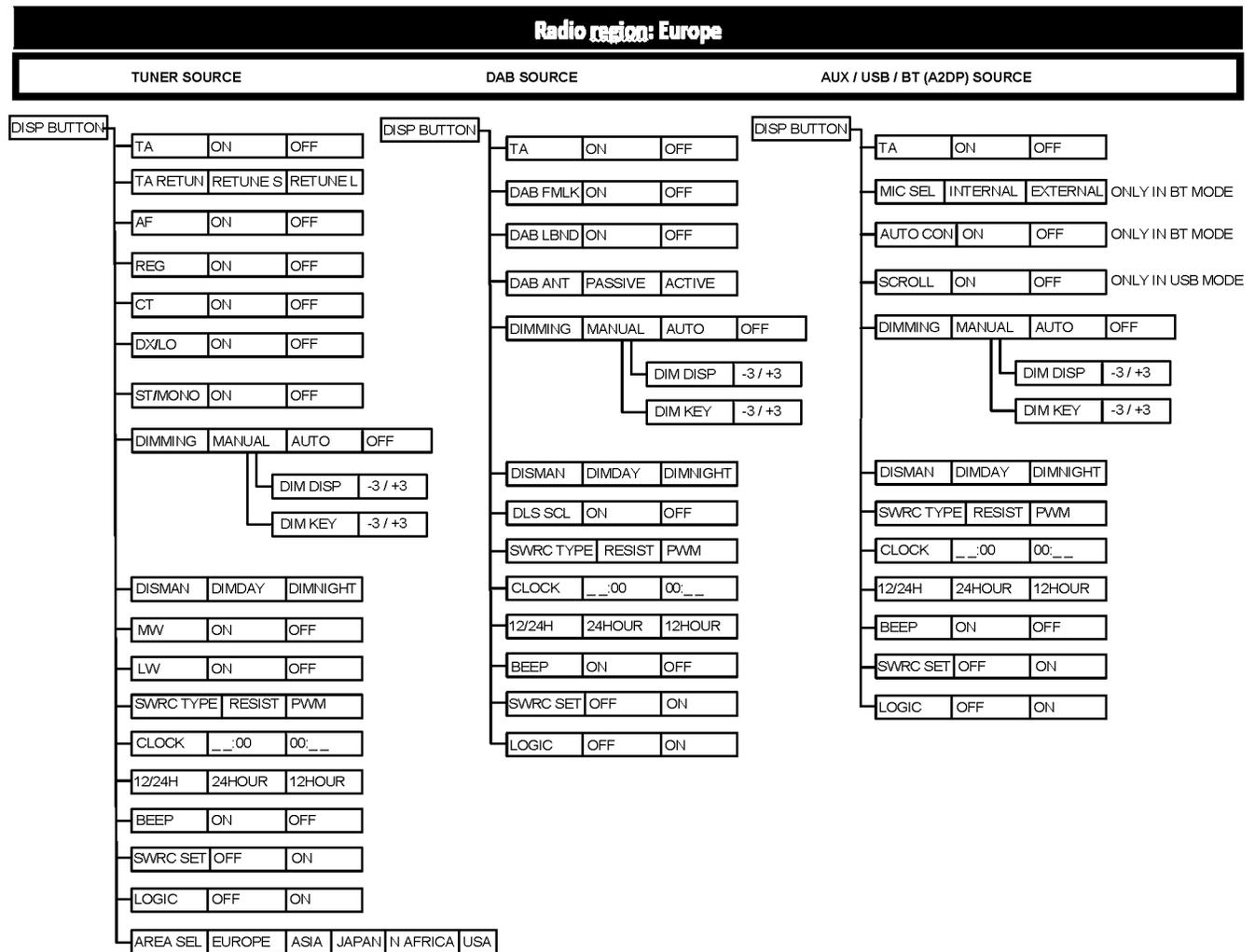
手動モード

“DIMDAY”または“DIMNIGHT”を選択することで，日中モードと夜間モードを切り替えます。

自動モード

自動モードでは，ラジオが車両の照明ピンに接続されている場合，ディスプレイが自動的に日中モードと夜間モードを切り替えます。

システム設定項目リスト



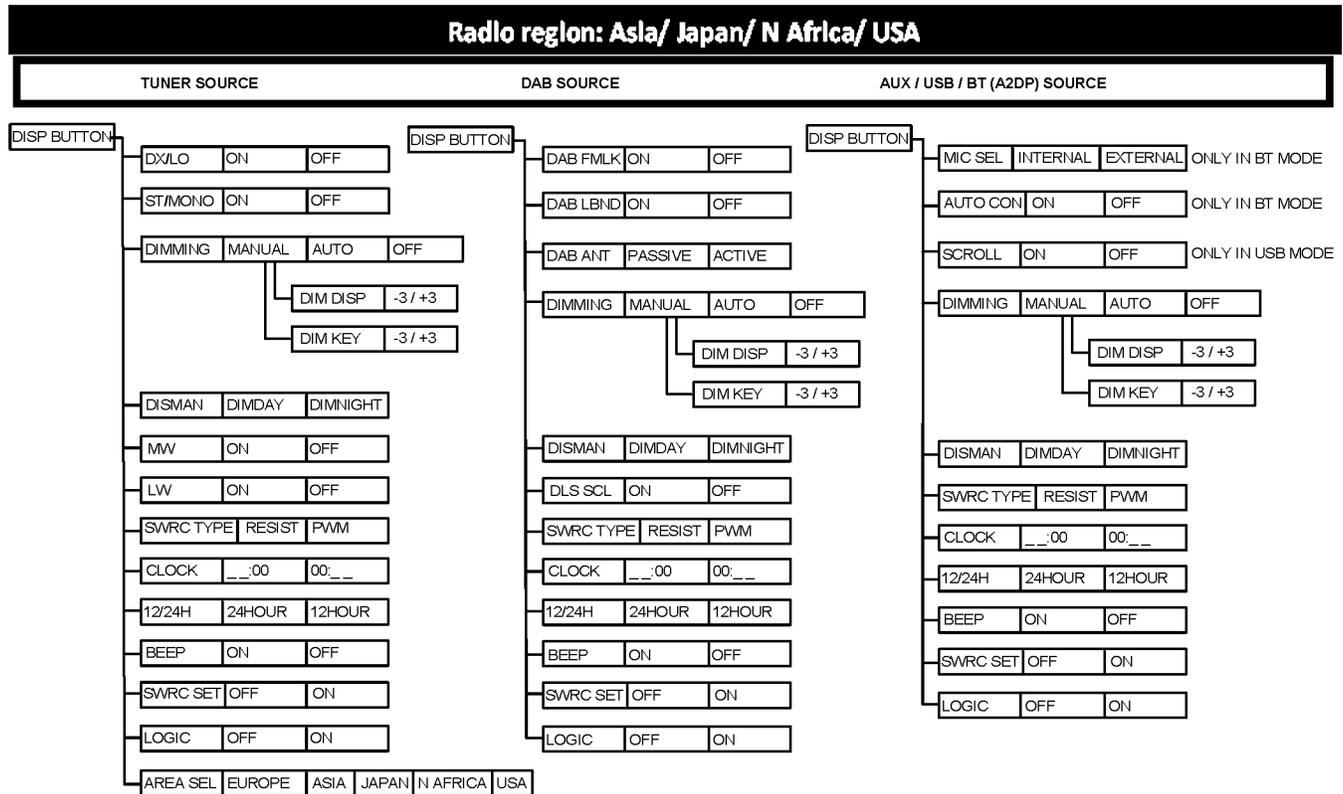


図 7

g06247868

AM/FMチューナのオプション

AM/FMチューナには，以下のオプションがあります。

- ・ “TA” 交通情報通知の受信時に自動的にFMチューナモードに切り替える機能を有効化/無効化する。
- ・ “TA Return” 交通情報通知がこれ以上検知されなくなったときに元のモードに戻る時間。
- ・ “AF” FMチューナモード (RDS) で最良の可聴周波数を自動選択する機能を有効化/無効化する。
- ・ “REG” さまざまな地域コンテンツを放送する，より良い可聴周波数を自動選択する機能を有効化/無効化する。
- ・ “CT” RDS信号を通じて受信される時刻に時計を自動的に同期させる。

- ・ “DX/LO” AM/FMチューナの検索レベル。
- ・ “ST/MONO” FM/AMチューナのステレオまたはモノラル出力の選択。
- ・ “AREA SEL” AM/FMチューナを該当地域に合わせる。

DABチューナのオプション

以下の機能はDAB機能に適用されます。

- ・ “DAB FMLINK” DAB信号の低下時に自動的にFMチューナに切り替える機能を有効化/無効化する。
- ・ “DAB LBND” Lバンドのデコーディングを有効化/無効化する。

- ・ “DAB ANT” アクティブアンテナまたはパッシブアンテナの接続を選択する。
- ・ “DLS SCROLL” アーティスト名と曲名の表示を有効化する。

Bluetoothのオプション

- ・ “SCROLL” ON: ID3タグ情報を次のサイクルで表示する: Track (トラック) - Folder (フォルダ) - File (ファイル) - Album (アルバム) - Title (タイトル) - Artist (アーティスト) - Track (トラック)。OFF: Track (トラック) を表示する。
- ・ “MIC SEL” フロントパネルに組み込まれたマイク，またはリアコネクタで接続された外部マイクの使用。
- ・ “AUTO CON” Bluetooth接続を有効化/無効化する。

ステアリングホイールコントロールのオプション

以下はステアリングホイールコントロールのオプションです。

- ・ “SWRC TYPE” ステアリングホイールコントロールのタイプの選択 (抵抗/PWM)。
- ・ “SWRC SET” ステアリングホイールコントロールを有効化/無効化する。

照度低下のオプション

以下は照度低下のオプションです。

- ・ “DIMMING” 照度低下モードを選択する (OFF, マニュアル, 自動)。
- ・ “DIM DISP” ディスプレイの輝度を調節する。
- ・ “DIM KEY” ボタンの輝度を調節する。
- ・ “DIS MAN” 日中モードと夜間モードを切り替える。

その他のオプション

- ・ “AM / MW” AM/MW受信を有効化/無効化する。
- ・ “LW” LW受信を有効化/無効化する。
- ・ “BEEP” 確認シグナルを有効化/無効化する。
- ・ “Logic” イグニッションロジックを有効化/無効化する。
- ・ “Clock” 時間と分を調節する。
- ・ “12 / 24H” 12時間/24時間フォーマットを選択する。

電気接続部

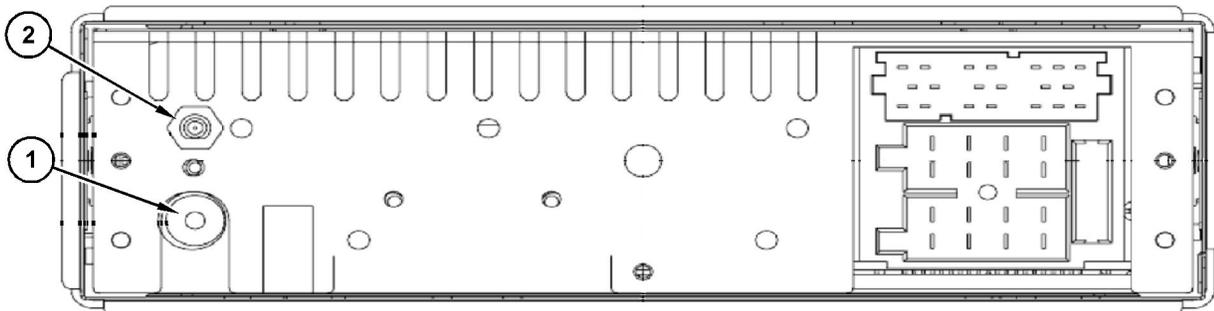


図 8

g06247910

- (1) DAB SMBコネクタ
 (2) AM/FM ISOコネクタ

ヒントおよびトラブルシューティング チャート

以下のチェックリストは、このユニットを使用する際に遭遇する可能性のある問題の解決に役立ちます。サービス担当者に相談する前に、各接続を確認し、ユーザマニュアルの指示に従ってください。ユニットが異常状態にある場合は、ユニットを使用しないでください。異常状態とは、たとえば、音が出ない、煙や異常な匂いがあるなどです。このような状態は、出火または感電の原因となるおそれがあります。ただちに使用を止めて、そのラジオを購入した店舗に連絡してください。

表 6

不具合状況	推定原因	対策
一般		
ユニットの電源がオンにならない。	車両のイグニッションがオンになっていない。ケーブルが正しく接続されていない。ヒューズが切れている。	車両のキーをイグニッション位置に回す。ケーブルの接続を確認する。切れたヒューズを同じ容量の新しいヒューズと交換する。
音が出ない	ボリューム設定が最小になっているか、ミュート機能がオンになっている。	ボリュームを確認するか、ミュート機能をオフにする。
ユニットまたはスクリーンが正しく機能しない。	ユニットが不安定になっている。	RESETボタンを押す。
モード - チューナ		
ラジオ局を受信できない。	アンテナが正しく接続されていない。	アンテナを正しく接続する。
ラジオ局の受信状態が悪い。	アンテナが完全に伸びていないか破損している。	アンテナを完全に伸ばすか、破損している場合は新しいものと交換する。
モード - USB		

(続き)

(表 6、続き)

不具合状況	推定原因	対策
USBデバイスを挿入できない。	USBデバイスが逆向きに挿入されている。	USBの向きを変えて挿入する。
USBデバイスを読み込めない。	NTFS形式がサポートされていない。	ファイルシステムがFATまたはFAT32形式であることを確認する。形式の違いによって、保存デバイスまたはMP3プレイヤーの一部のモデルを読み込むことができない。

整備基準

以下の情報はラジオの仕様に関するものです。

General

Power supply :	12-volt DC or a 24-volt DC negative ground according to the right radio variant. (Refer to variants table)
Maximum power output:	41 W x 4 channels (4 Ω) for 12-volt variant
Suitable speaker impedance:	4 Ω
Dimensions (W x D x H):	188 x 114.7 x 58.5 mm
Weight:	0.9Kg

Note: for different bit-rate MP3, ESP time are different;
 40 seconds only for bit-rate MP3 file of 128Kbps

FM Stereo Radio

Frequency range:	Refer to AM/FM Tuner table
Usable sensitivity:	< 14 dBμ
Frequency response:	50 Hz – 10 KHz
Stereo separation:	≥ 22dB (1KHz)
Image response ratio:	≥ 40dB
IF response ratio:	≥ 60 dB
Signal/noise ratio:	≥ 50dB

AM/MW) radio

Frequency range:	Refer to AM/FM Tuner table
Usable sensitivity (S/N = 20 dB):	< 35 dBμ

USB Charging: 0.5A 5V

図 9

g06248106

表 7

AM/FMチューナ	バンド	受信周波数	自動スペース	チャンネルスペース
米国	FM	87.5 ~ 107.9 MHz	200 kHz	100 kHz
	AM	530 ~ 1,710 kHz	10 kHz	10 kHz
欧州	FM	87.5 ~ 108.0 MHz	100 kHz	50 kHz
	MW	522 ~ 1,620 kHz	9 kHz	9 kHz
	LW	144 ~ 288 kHz	3 kHz	3 kHz
アジア	FM	87.5 ~ 108.0 MHz	50 kHz	50 kHz
	AM	522 ~ 1,629 kHz	9 kHz	9 kHz
日本	FM	76.0 ~ 95.0 MHz	100 kHz	100 kHz

(続き)

(表 7、続き)

AM/FMチューナ	バンド	受信周波数	自動スペース	チャンネルスペース
	AM	522 ~ 1,629 kHz	9 kHz	9 kHz
中南米	FM	76.0 ~ 107.9 MHz	50 kHz	50 kHz
	AM	530 ~ 1,710 kHz	10 kHz	10 kHz
北アフリカ	FM	87.5 ~ 108.0 MHz	100 kHz	50 kHz
	MW	531 ~ 1,602 kHz	9 kHz	9 kHz
	LW	153 ~ 252 kHz	3 kHz	3 kHz

表 8

デジタル (DAB) ラジオ			
周波数範囲	DABバンドIII: 174.928 MHz ~ 239.200 MHz		
	DABバンドL: 1,452.960 MHz ~ 1,490.624 MHz		
実用感度 (RF=72 dBm)	-95 dBm		
周波数応答:	20 Hz ~ 20 kHz		
ステレオ分離	≥50 dB		
信号/雑音比:	≥60 dB		
	項目	最低	最高
	遠傍選択度:	42 dB	60 dB
	近接チャンネル拒否:	35 dB	40 dB

注記: 技術的な向上のため，仕様および設計を予告なく変更する場合があります。

表 9

Bluetooth	
出力	4 dBm (クラス2)
周波数バンド	2.4000 GHz ~ 2.4835 GHz (ISMバンド)
範囲	10 m (フリースペース)
標準	Bluetooth 2.0仕様

アクセサリ

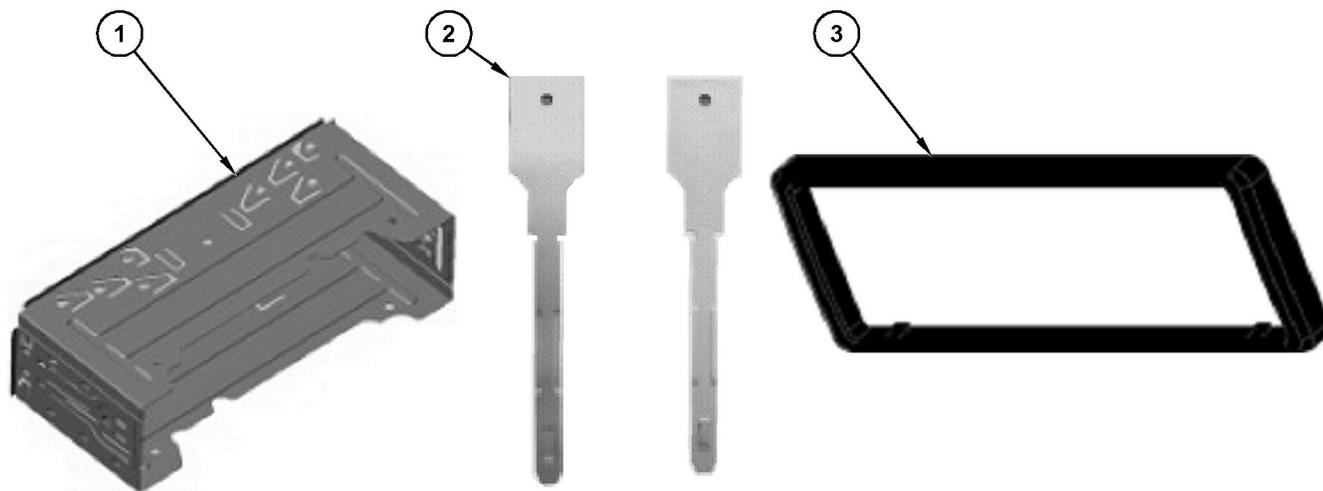


図 10

g06248183

ラジオアクセサリ

(1) メタルスリーブ

(2) リムーバル工具

(3) ベゼル

i07438300

ラジオ (娯楽用、装着の場合)

SMCSコード: 7338

シリアル番号: H221-以降

シリアル番号: H241-以降

シリアル番号: H771-以降

⚠ 注意

運転中は、常に視線を道路から外さず、手はステアリングホイール上に保持し、通常の運転に必要な操作に集中するようにしてください。運転者には、車両の安全な運転を継続する責任が課されています。運転中に道路への視線の維持およびステアリングホイール上での手の保持を怠ると、自分自身や第三者に危害が及ぶ可能性があります。

Introduction

このオーナーズマニュアルに記載の情報は、発行の時点で正確なものです。ただしCaterpillarは、予告なく性能などを変更する権利を留保します。印刷の時点以降に行われた変更に関する詳細については、お近くのディーラにお問い合わせください。

このラジオシステムは、ボタン、RSA、あるいはステアリングホイールコントロールを使用して操作します。

ステレオレシーバ



図 11

g03566500

MP3/USB/iPod/Aux/Bluetoothレシーバ



図 12

g03566527

MP3/USB/iPod/Aux/Bluetooth/CDレシーバ



図 13 g03566571
 MP3/USB/iPod/Aux/Bluetooth/CD/SATレシーバ

ラジオのピン配列

ラジオのピン配列は次に示すとおりです。

Cavity	Pin#	Function	I/O
A1	1	CAN-High	I/O
A2	2	CAN-Low	I/O
A3	3	Park Lights	I
A4	4	Ignition	I
A5	5	PWR_ANT/PA_MIC_PWR	O
A6	6	Dim PWM/ANALOG	I
A7	7	Battery	I
A8	8	Power Ground	I
B1	9	RR + (Speaker)	O
B2	10	RR - (Speaker)	O
B3	11	RF + (Speaker)	O
B4	12	RF - (Speaker)	O
B5	13	LF + (Speaker)	O
B6	14	LF - (Speaker)	O
B7	15	LR + (Speaker)	O
B8	16	LR - (Speaker)	O
C1	17	Power Ground	I/O
C2	18	Amp Sense	I
C3	19	Not connected	
C4	20	Cell_Tel_Mute	I
C5	21	ASWC (Analog Steering Wheel Control)	I
C6	22	Not connected	
C7	23	L_AUX_N 1	I
C8	24	AUX_SHIELD_GND	I
C9	25	AUX_1_COM	I
C10	26	R_AUX_N 1	I
C11	27	AUX_1_ON_OFF	I
C12	28	Not connected	
C13	29	Not connected	
C14	30	Not connected	
C15	31	MIC+ (BAT)	I
C16	32	MIC- (BAT)	I
C17	33	Not connected	
C18	34	Not connected	
C19	35	Not connected	
C20	36	Not connected	

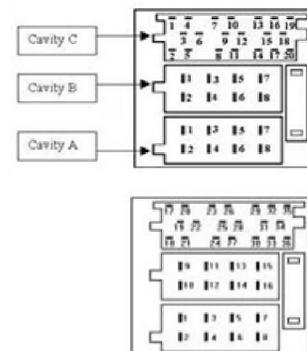


図 14

一般的なラジオレシーバの機能

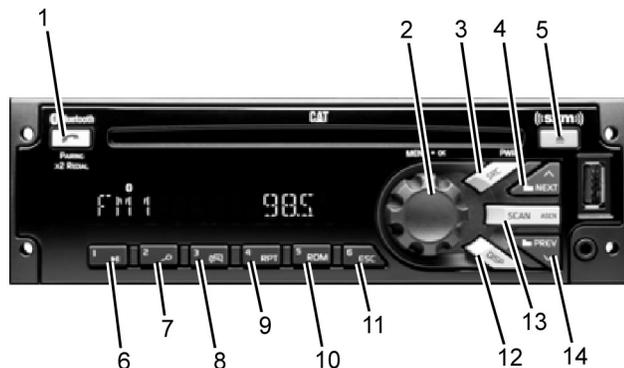


図 15

g03566592

- (1) 電話番号
- (2) ノブ
- (3) SRC/PWR (ソース/電源)
- (4) 次の速度段
- (5) 取り出し
- (6) 再生/一時停止
- (7) ブラウズ
- (8) クロック/アラーム
- (9) RPT (リピート)
- (10) RDM (ランダム)
- (11) ESC (エスケープ)
- (12) DISP (ディスプレイ)
- (13) SCAN/ASCAN (スキャン/自動スキャン)
- (14) PREV (前へ)

オプション

- ・ AM 1バンド，AMプリセット数6局
- ・ FM 3バンド，合計FMプリセット数18局
- ・ 気象 (WX) 1バンドプリセット，WXプリセット数6局

SRC/PWR (ソース/電源)

これを押すと，FM → AM → WX → SXM → CD → USB / iPod → AUX → Bluetoothオーディオ (装着の場合) およびラジオのON切替えが行われます。押し続けると，ラジオがOFFになります。

1時間タイマ

イグニッションがオフの状態ですRC/PWR (ソース/電源) ボタンを押すとレシーバがオンになり，レシーバの1時間タイマが作動します。レシーバは，1時間が経過するか，SRC/PWR (ソース/電源) ボタンを押して保持するとオフになります。

ボリュームノブ/OK

素早く押す (3秒より短く) と，オーディオコントロール用メニューが表示されます。これを3秒以上押すと，ユーザ用メニューが表示されます。この回転操作でボリュームの増減が行え，メニュー表示中はナビゲーション操作が行えます。メニュー表示中にこれを押すことは，選択した操作の確認となります。

PREV (前へ/戻す)

これを押すと，1つ前のトラックやステーションを選択します。押し続けると，高速巻戻し (FR) またはチューニングダウンとなります。

NEXT (次へ/進む)

これを押すと，次のトラックまたはステーションの選択が行われます。押し続けると，早送り (FF) またはチューニングアップとなります。

取り出し

これを押すとCDが取り出されます。

電話 (装備されている場合)

電話ボタンを3秒以上押すと，Bluetooth用メニューが表示されます。Bluetoothの有効化中にこのボタンを押すと，ダイヤル用メニューの表示または着信コールの受信になります (電話がペアリングされている場合)。通話中にこのボタンを3秒以上押すと，ラジオの通話が電話に転送されます。

クロック/アラーム

アラーム作動中にこれを押すと，アラームが解除されます。

SCAN/ASCAN

ステーション/CDトラック/MP3/WMAのファイルおよびフォルダ，チューナ，ストア，プリセットされたステーションをスキャンします。

再生/一時停止

これを押すと，現在再生中のメディアの一時停止/一時停止解除が行われます。

RPT (リピート)

これを押すと，現在のトラックがリピートされます。再度これを押すと，リピートが停止します。この機能がONであるかOFFであるかは，ラジオディスプレイのRPT (リピート) アイコンで確認できます。

ブラウズ

これを押すと，デバイスのナビゲーション操作や，特定の楽曲や再生コンテキストでの選択操作が行えます (USBメモリ，CD MP3ディスク，およびiPodで利用可能)。

RDM (ランダム)

これを押すと、トラックのランダム再生が行われます。再度これを押すと、ランダムモードが解除されます。この機能がONであるかは、ラジオディスプレイのRDM (ランダム) アイコンで確認できます。

ESC (エスケープ)

これを押すと、メニューの表示レベルが1つ繰り上がります。

システムにBluetoothが装備されている場合、Bluetooth通話作動中にESC (エスケープ) ボタンを押すと、通話を拒絶またはキャンセルします。

DISP (ディスプレイ)

車両のイグニッションがONにされている状態でこれを押すと、ソースディスプレイが変更されます。

3秒以上押すと、少しの間時計が表示されます。

ラジオ (オーディオソース)

AM, FM, WX, SXM (装着の場合), iPod, USB, リアAUX, フロントAUX, CD, またはBTオーディオにアクセスするには、次のいずれかを行います。

1. SRC (ソース) ラジオボタンを押してオプションをスクロールさせ、希望のオプションを選択します。
2. SRC (ソース) ラジオボタンを押し、次にノブを回すかNEXT (次へ) /PREV (前へ) を短く押してソースメニューをスクロールさせ、さらにノブを短く押して選択します。

CD/MP3, USB/iPod, フロントAUX, およびBTオーディオにアクセスできるのは、ラジオのモデルがそれらに対応し、デバイスが該当するソースに接続または差し込まれている場合のみです。

デバイスが同時に異なるソースに接続されている場合、その機能性は保証されないことに留意してください (デバイスに依存)。例: フロントAUXとBluetooth, あるいはUSBとBluetoothを介して同時に接続されているデバイス。

AM-FM-WXラジオ

チューニング: メニューの項にある手順に従って、希望する“Tuner Configuration” (チューナコンフィギュレーション) に設定します。

ラジオがマニュアルに設定されていると、ラジオでは次の機能を実行できます。

- ・ NEXT (次へ) またはPREV (前へ) ボタンを短く押すと、マニュアルチューニングが実行されます。
- ・ NEXT (次へ) またはPREV (前へ) ボタンを長く押すと、シークが実行されます。

ラジオがオートに設定されていると、ラジオでは次の機能を実行できます。

- ・ NEXT (次へ) またはPREV (前へ) ボタンを短く押すと、シークが実行されます。
- ・ NEXT (次へ) またはPREV (前へ) ボタンを長く押すと、マニュアルチューニングが実行されます。

マニュアルチューニング

現在の周波数は、1ステップで0.2 MHz (米国FMモード), 10 kHz (米国AMモード), WXモードでは1チャンネル (25 kHz) ずつ増加/減少します。

放送局のシーク

シーク機能が作動すると、ラジオは同調可能な放送局が見つかるまで周波数を増加/減少させます。

同調可能な放送局が見つからない場合、ラジオは“NO STATION FOUND” (放送局が見つかりません) と表示します。

プリセット

ラジオ局プリセットの保存:

1. 希望の周波数にチューニングし、続いてラジオがビーブ音を鳴らすまで、プリセット (1~6) ボタンのいずれかを長く押しします。

ラジオ局プリセットのチューニング:

1. プリセット (1~6) ボタンのいずれかを短く押しします。ボタンを離すと、プリセット位置に保存された周波数にチューニングされます。

スキャン

スキャン機能を開始させるには、SCAN/ASCN (スキャン/自動スキャン) ボタンを短く押しします。スキャンが始まると、ラジオは周波数を増加させて放送局を探し、次の強力な周波数で8秒間停止してから、次の強力な放送局を探します。

バンドを2回通過して放送局が見つからない場合、ラジオは“NO STATION FOUND” (放送局が見つかりません) と表示し、続いて開始した周波数にチューニングされます。

自動スキャン

この機能は、ラジオの電源がオフになるかソースが変更されるまで、現在のバンドで最も電波が強い6局をプリセットに一時的に保存するものです。

自動スキャンでは周波数がプリセットに番号順に保存されるわけではありません。周波数は検出された順と周波数の質に応じて保存されます。

自動スキャン機能を開始させるには、ラジオがビープ音を鳴らすまでSCAN/ASCANボタンを長押しします。ラジオが一時プリセットを保存している間は“AUTO SCAN”（自動スキャン）アイコンが点滅します。

自動スキャンプロセスが完了すると、ラジオはプリセット1に保存された放送局にチューニングし、このモードが有効な間は“AUTO SCAN”（自動スキャン）アイコンが点灯します。

6つの周波数のいずれかにチューニングするか、新しいプリセットを保存するには、プリセットの項に定められている手順に従います。

このモードから抜けて本来のプリセットに戻るには、次のいずれかの操作を実行します。

1. SCAN/ASCAN（スキャン/自動スキャン）ボタンを押して保持します。
2. SRC/PWR（ソース/電源）ボタンを押します。
3. ラジオをオフにします。
4. イグニッションを切って再び入れます。
5. バッテリーを切り離します。

WX

WXバンドは政府の気象無線サービスの周波数用です。ラジオは7つの気象チャンネルにチューニングできます。手順についてはチューニング、プリセット、スキャンのセクションを参照してください。

SXM（装着の場合）

有効なSiriusXM®衛星ラジオの視聴登録がされている場合、SiriusXMプログラムの受信が可能です。SiriusXMは様々なプログラムおよび商用-フリーミュージックを提供する衛星ラジオで、デジタル品質のサウンドを北米大陸全域に放送しています。

SiriusXM®

SXMディスプレイ

SiriusXMを有効にすると、画面上にチャンネル番号、チャンネル名、アーティスト名/コンテンツ情報、曲タイトル、またはカテゴリ名を表示できます。SiriusXMの情報については、随時アップデートされている場合があります。

“DISP”（ディスプレイ）ボタンを短く押すと、現在の表示ビューを変更できます。

新しいチャンネルが選択された場合、曲が変わった場合、（電源投入またはソースの変更から）SXMソースが選択された場合、または情報が更新された場合は、すべてのページ分け機能を使ってすべての要素が表示されます。ページ分け機能はDISPボタンを短く押すことによって停止できます。

ディスプレイでの表記

このラジオのテキスト表示では、次の略号が用いられています。

- ・ チャンネル番号: CH
- ・ チャンネル名: CH
- ・ アーティスト名: ART
- ・ コンテンツ情報: INFO
- ・ 曲タイトル: SONG
- ・ カテゴリ名: CAT

SXMのカテゴリ

SiriusXMの放送ステーションはカテゴリごとに分類されています。

SXMのカテゴリ一覧については次のWebページを参照してください。<http://www.siriusxm.com/sxm/pdf/sirius/channelguide.pdf>

現在のカテゴリを変更するには、NEXT/PREV（次へ/前へ）ボタンを長く押します。すると、ラジオは次か前のカテゴリの最初のチャンネルにチューニングされます。

カテゴリモードの有効化/無効化

カテゴリサーチモードの有効化は、現在のカテゴリにあるチャンネルだけをサーチさせることを意味します。これを有効化すると、CATEGORY（カテゴリ）アイコンが点灯します。

カテゴリサーチモードの無効化は、すべてのチャンネルをサーチさせることを意味します。これを無効化すると、CATEGORY（カテゴリ）アイコンが消灯します。

カテゴリ閲覧モードを有効化/無効化するには、“ユーザメニュー”の項の手順に従います。

電源投入後のデフォルト設定では、カテゴリは無効化されています。

SXMチャンネルの選択

プリセットおよびスキャン機能は、AM-FM-WXラジオのスキャンと同様です。

NEXT（次へ）ボタン

SXMラジオの使用時、利用可能な次のチャンネルに数値順でスクロールさせます。

PREV（前へ）ボタン

SXMラジオの使用時、利用可能な前のチャンネルに数値順でスクロールさせます

注記:SXMサービスのアクティベーションがされていない場合は、無料チャンネルだけが示されます。

SXMラジオID

チャンネル0にチューニングすると、“RADIO ID”（ラジオID）のラベルとSXMラジオの8桁コードが交互に切り替わります。このコードはサービスのアクティベーションに必要となります。

チャンネル0では“DISP”（ディスプレイ）ボタンは機能しません。カテゴリモードの有効化中は、チャンネル0を利用できません。

SXMのメッセージ

SXM BUSY（SXMが実行中です） - オーディオシステムでオーディオやテキストデータの取得と処理が実行されています。ここで必要とされる操作はありません。

ART UNAVAIL（アーティスト名がありません） - 現在の楽曲に関連付けられたアーティスト名はありません。

SONG UNAVAIL（曲名がありません） - 現在の楽曲に関連付けられた曲名はありません。

CHAN UNAVAIL（チャンネル名がありません） - 現在のチャンネルに関連付けられたチャンネル名はありません。

CHECK ANTENNA（アンテナをチェックしてください） - SXM用のアンテナやアンテナケーブルがラジオに接続されていないか、アンテナが短絡しています。

NO SIGNAL（信号がありません） - SXMチューナモジュールが無信号状態であると報告しています。先に解説したように、この状態でのみチャンネル0が利用できます。

CHAN UNSUB（チャンネルが登録されていません） - アクティブなチャンネルが登録解除されたか、要求されたチャンネルが登録されていません。

SUBSCRIPTION UPDATED - PRESS OK TO CONTINUE（登録がアップデートされました - “OK”を押して続行してください） - ラジオの登録がアップデートされました。メッセージを消去して以前の状態に戻すには“OK”（ノブ）を押します。

CH UNAVAIL（チャンネルが利用できません） - 新規に選択したチャンネルまたは現在選択されたチャンネルについて、要求されたチャンネルが利用できないと報告されました。利用できないチャンネルとは、チャンネルに関する法的な権利に問題はないが、現状で放送サービスとしての登録や表示が不可能な状態になっていることを意味します。3秒が経過すると、以前のチャンネルに戻るか（利用できる場合）、チャンネル1へのチューニングが行われます。

iPod

このラジオは、次のモデルのiPodに対応していません。

- ・ iPod classic（第6世代）

- ・ iPod nano（6G）
- ・ iPod touch（4G）
- ・ iPhone（3G, 3GS, 4, および4S）

その他のiPodも再生できる場合がありますが、機能は保証されません。

ラジオから最大1A給電されますので、必要電流が1A未満のデバイスは、USBに接続すると充電されます。

次の状況においては、操作および機能に問題が生じる場合があります。

- ・ このラジオが対応するファームウェアより新しいバージョンがインストールされているiPodを接続した場合
- ・ 他のプロバイダの手によるファームウェアがインストールされているiPodを接続した場合

iPodからの再生

iPodの接続方法:

1. 標準のiPod USBケーブルの一端をiPodのドックコネクタに接続します。
2. 他端をフロントラジオディスプレイにあるUSBポートに接続します。
1. ラジオがUSBの再生を開始し、トラック番号、曲、アーティスト、経過時間、およびアルバム情報があれば表示します。
2. iPodの音楽情報がラジオのディスプレイに表示され、車両のオーディオシステムを通じて再生が開始されます。
3. iPodが非対応モデルの場合でも、一般の3.5 mm（1/8 in）ステレオケーブルを使用してAUX入力ジャックに接続して、車両で聞くことができます。

iPod接続時の予想される作用:

- ・ iPodのバッテリーは、車両がオンの間は自動的に充電されます。
- ・ 車両をオフにすると、iPodがオフになり充電が停止します。

iPodメニュー

次の手順を適用してiPodメニューに進みます。

1. USBソース（iPod接続状態）が有効な状態で拡大鏡（プリセット1）ボタンを押し、iPodメニューにアクセスします。
2. ボリュームノブまたはNext/Prev（次へ/前へ）ボタンを使用して、種々のオプションを操作します。

3. iPodメニューを使用して選択します。

プレイリスト

次の手順を適用してプレイリストに進みます。

1. iPodにて、プレイリストを押して表示させます。
2. プレイリスト名を選択して、そのプレイリスト内の全曲のリストを表示させます。
3. リストから曲を選択して再生を開始させます。

アーティスト

次の手順を適用してアーティストに進みます。

1. iPodにて、アーティストを押して表示させます。
2. アーティスト名を選択して、そのアーティストによる曲を含む全アルバムのリストを表示させます。
3. アルバムを選択します。
4. リストから曲を選択して再生を開始させます。

アルバム

次の手順を適用してアルバムに進みます。

1. iPodにて、アルバムを押して表示させます。
2. アルバム名を選択し、アルバムの全曲のリストを表示させるか、全曲を選択し、iPodにある全曲を表示させます。
3. リストから曲を選択して再生を開始させます。

ジャンル

次の手順を適用してジャンルに進みます。

1. iPodにて、ジャンルを押して表示させます。
2. ジャンル名を選択して、そのジャンルのアーティストのリストを表示させます。
3. アーティストを選択してアルバムを表示させるか、全アルバムを選択してそのジャンルの全アルバムを表示させます。
4. アーティストを選択してアルバムを表示させます。
5. アルバムを選択して曲を表示させます。
6. リストから曲を選択して再生を開始させます。

ポッドキャスト

次の手順を適用してポッドキャストに進みます。

1. iPodにて、ポッドキャストを押して表示させます。

2. ポッドキャスト名を選択して再生を開始させます。

曲

次の手順を適用して曲に進みます。

1. iPodにある全曲のリストを押して表示させます。
2. リストから曲を選択して再生を開始させます。

作曲者

次の手順を適用して作曲者に進みます。

1. iPodにて、作曲者を押して表示させます。
2. 作曲者を選択して、その作曲者による曲のリストを表示させます。
3. リストから1曲選択して再生を開始させます。

オーディオブック

次の手順を適用してオーディオブックに進みます。

1. iPodにて、オーディオブックを押して表示させます。
2. リストからオーディオブックを選択して再生を開始させます。

iPhoneまたはiPod Touchで、iOSがiOS 5.0より低いものをUSBやBluetoothを介して接続すると、iPodソースの選択時、音声聞こえない場合があります。この状況を修正するには、電話機のドックコネクタを選択するか、Appleデバイスを切り離して再接続します。

注記: iOSはAppleのオペレーティングシステムです。

次のコントロールを使用してiPodによる再生を行います。

PREV (前へ) - これを押すと、現在または前のトラックの先頭へ移動します。

注記: トラックの再生が10秒未満の場合、前のトラックへ移動します。10秒より長いと、現在のトラックが先頭から開始されます。

NEXT (次へ) - これを押すと、次のトラックへ移動します。

FF/FR (早送り/巻戻し) - トラックの早送りまたは巻戻しを行うには、Next (次へ) またはPREV (前へ) ボタンを押して保持します。

RDM (ランダム) - これを押すと、トラックがランダムに再生されます。再度これを押すと、シャッフルモードが停止します。この機能がONであるかは、ラジオディスプレイのRDM (ランダム) アイコンで確認できます。

RPT (リピート) - これを押すと、現在のトラックが繰り返されます。再度これを押すと、リピートが停止します。この機能がONであるかは、ラジオディスプレイのRPT (リピート) アイコンで確認できます。

エラーメッセージ - "UNSUPPORTED" (非対応) というメッセージが表示されたら、次の理由のいずれかが該当する可能性があります。

- ・ 接続されたiPodが非対応 (対応するiPodのリストについてはXページ参照)。
- ・ iPodがラジオのコマンドに無反応。この場合、iPodをリセットして再接続してみます。

"NO MUSIC" (曲なし) というメッセージが表示される場合、次の理由が該当する可能性があります。

- ・ iPodに再生可能なファイルが存在しない。

USB

USBからの再生

USBポートには、USB大容量記憶装置を接続することができます。

USBポートは、ラジオディスプレイの前面にあります。

このポートからの5 V DC出力は、1 Aまでに制限されています。これより大きい電流を必要とするiPodのようなデバイスは、このポートでは充電されません。

USB MP3プレーヤおよびUSBドライブ。 接続するUSB MP3プレーヤおよびUSBドライブは、次のUSB大容量記憶装置の仕様に準拠している必要があります。

- ・ MS-DOSパーティションのみ
- ・ クラス仕様 (ESB MSC)。FAT32, FAT16, NTFS, およびHFS+の各フォーマットに対応。
- ・ ハードディスクドライブも場合によっては再生可能。ただし保証外。
- ・ このラジオでは書込み禁止の楽曲は再生不可。
- ・ MTPプレーヤは非対応。

MP3ファイル作成の際は、次のガイドラインを満足する必要があります。そうでない場合、ファイルが再生できない可能性があります。

MP3ファイルの場合:

- ・ ビットレート: 32, 40, 48, 56, 64, 80, 96, 112, 124, 160, 192, 224, 256, 320 kbps (MPEG-1 Audio Layer 3)。
- ・ サンプリング周波数: 32, 44.1および48 kHz (MPEG-1 Audio Layer 3)。

- ・ 最大フォルダ数: 8フォルダ。各フォルダに255ファイルまで。
- ・ 1つのディスクに最大1,000ファイル。
- ・ M3UおよびPLSプレイリストの各バージョンに対応。
- ・ 容量700 MBのCD-RまたはCD-RWへの記録。

プロテクトなしのWMAファイルの場合:

- ・ バージョン: 1, 2, 7, 8, 9および9.1。
- ・ ビットレート: 32 ~ 320 kbps。
- ・ サンプリング周波数: 32 ~ 48 kHz。

USBデバイスの再生

次の手順を適用してUSBデバイスに進み再生します。

1. USBを接続すると再生が始まります。
2. SRC (ソース) ボタンを使用してUSBソースを選択します。
3. ラジオがUSBの再生を開始し、トラック番号、曲、アーティスト、経過時間、およびアルバム情報があれば表示します。

次のコントロールを使用してディスクの再生を行います。

PREV (前へ) - これを押すと、現在または前のトラックの先頭へ移動します。

注記: トラックの再生が10秒未満の場合、前のトラックへ移動します。10秒より長いと、現在のトラックが先頭から開始されます。

NEXT (次へ) - これを押すと、次のトラックへ移動します。

FF/FR (早送り/巻戻し) - トラックの早送りまたは巻戻しを行うには、Next (次へ) またはPREV (前へ) ボタンを押して保持します。

RDM (ランダム) - これを押すと、トラックがランダムに再生されます。再度これを押すと、シャッフルモードが停止します。この機能がONであるかは、ラジオディスプレイのRDM (ランダム) アイコンで確認できます。

RPT (リピート) - これを押すと、現在のトラックが繰り返されます。再度これを押すと、リピートが停止します。この機能がONであるかは、ラジオディスプレイのRPT (リピート) アイコンで確認できます。

上のフォルダ - これを押すと、次のフォルダが選択されます。

注記:特定の再生可能な範囲を再生中にこれを押すと、新しくUSBが差し込まれたときと同様に、ラジオはトラック1にジャンプして再生を開始します。

下のフォルダー-これを押すと、前のフォルダーが選択されます。

注記:特定の再生可能な範囲を再生中にこれを押すと、新しくUSBが差し込まれたときと同様に、ラジオはトラック1にジャンプして再生を開始します。

SCAN (スキャン) :

- ・ 短く押すと、現在再生中の部分をスキャンし始めます。
- ・ 長く押すと、トラック1からデバイス全体をスキャンします。

エラーメッセージ-“UNSUPPORTED” (非対応) というメッセージが表示されたら、このエラーには、次の理由のいずれかが該当する可能性があります。

- ・ 対応していないフォーマットまたはパーティションのUSBデバイスまたはMPTプレーヤーが接続されている場合。
- ・ デバイスが壊れている場合。
- ・ 接続されたデバイスが大容量記憶装置として接続されていない場合。

“NO MUSIC” (楽曲なし) というメッセージが表示された場合、再生できるMP3ファイルまたはプロテクトなしのWMAファイルが存在しない可能性があります。

フロントAUX

フロントAUXモードでは、iPod®またはMP3プレーヤー等の外部デバイスをレシーバ前部にあるAUX入力ジャックを介して再生できます。

外部デバイスを使用するには、AUX入力ジャックを介してデバイスを接続するだけです。

フロントAUXモードは、レシーバ前部のAUX入力ジャックにデバイスが接続されていない場合は利用できません。

リア補助

リアAUXモードでは、レシーバのリアパワーAUX入力ラインを介して接続した外部デバイスを再生できます。

外部デバイスを使用するには、AUX入力ジャックを介してデバイスを接続し、ソースボタンを使用して選択するだけです。

リアAUXソースは、リア入力にデバイスが取り付けられていなくても利用できます。

Bluetooth (装着の場合)

このラジオは、Bluetoothデバイスに接続できません。この機能を使用するには、ご使用のデバイスにBluetoothが必要で、このラジオにペアリングして接続する必要があります。

ほとんどのBluetoothデバイスに対応しています。

このラジオには最大10個のデバイスを接続でき、ラジオは、前回ペアリング/接続したデバイスから開始し、最初の利用可能なペアリング済みのデバイスに接続します。

電話ボタンを3秒以上押すと、Bluetoothメニューが利用可能になります。操作するにはノブを回します。

Bluetoothメニューには、BT ENABLE (Bluetooth有効化)、CONNECT PH (電話機の接続)、DISCONNECT PH (電話機の切離し)、ADD PHONE (電話機の追加)、およびDELETE PH (電話機の削除)の各オプションがあります (一部のオプションは、デバイスとペアリング済みの場合のみ有効です)。

Bluetoothの有効化/無効化

ご使用のラジオでBluetoothを有効化/無効化するには、次のようにします (まだ作動していない場合)。

- ・ ラジオがオンのときに電話ボタンを3秒以上押します。Bluetoothメニューが表示されます。
- ・ ディスプレイに“BT Disable” (Bluetooth無効化) または“BT Enable” (Bluetooth有効化) と表示されるまで、ボリュームノブを回します。ボリュームノブを押して、Bluetoothを有効/無効にします。
- ・ ボリュームノブを押して、Bluetoothを有効/無効にします。

デバイスが以前にペアリングされていた場合は、電話アイコンが有効になり、以前にペアリングしていた電話に再接続が試みられるまで矢印アイコンが点滅します (各電話に対して3回ずつ再接続が試みられます)。

Bluetoothデバイスのペアリング

ペアリングを完了させるには、次の手順に従う必要があります。

1. ラジオおよびデバイスでBluetoothを有効にします。詳細については、ご使用のデバイスのマニュアルを参照してください。
2. 次のようにして、デバイスをラジオにペアリングします。
 - ・ 電話ボタンを3秒以上押すと、Bluetoothメニューが表示されます。

- ・ ディスプレイにADD PHONE（電話機の追加）と表示されるまで、ボリュームノブを回します。
- ・ ボリュームノブを押して動作を確定します。

ラジオにADDING PH（電話機追加中）と3秒間表示されます。この検出可能モードでは、Bluetoothステータスアイコンが最大3分間点滅します。電話機が見つからなかった場合は、ラジオにNO PH FOUND（電話機が見つかりません）と表示され、電話機アイコンおよび矢印アイコンが無効になります。

検出可能モードの間に、ご使用の携帯電話機でBluetoothデバイスを追加するように設定し、“DEA500 RADIO”という名前を探します。

- ・ ご使用の電話機の指示に従って接続を追加します。必要に応じて、4桁のPIN, 0000を使用し、ラジオに接続します。
- ・ 携帯電話機の追加に成功すると、ラジオにPH CONNECTED（電話機に接続済み）、続いてBluetoothデバイス名が表示されます。ディスプレイにて電話アイコンが有効になり、矢印が無効になります。
- ・ ラジオがつながると、Bluetoothアイコンが点滅します。アイコンの点滅は、レシーバが携帯電話機の連絡先のダウンロードを試行していることを示しています（連絡先へのダイヤル機能用）。すべての連絡先のダウンロードが完了するか、ラジオが携帯電話機からの連絡先の受信を時間切れで終わらせると、アイコンの点滅が止まります。詳細については、ご使用の電話機のユーザーガイドを参照してください。

注記: デバイスが同時に異なるソースに接続されている場合、その機能性は保証されないことに留意してください（デバイスに依存）。例: フロントAUXとBluetooth, あるいはUSBとBluetoothを介して同時に接続されているデバイス。

注記: iOSはAppleのオペレーティングシステムです。

注記: トラックの再生が10秒未満の場合、前のトラックへ移動します。10秒より長いと、現在のトラックが先頭から開始されます。

デバイスの接続

ご使用のデバイスを以前にペアリングした場合、次のようにして簡単にデバイスへ接続できます。

1. 電話ボタンを3秒以上押します。Bluetoothメニューが表示されます。
2. ディスプレイにCONNECT PH（電話機の接続）と表示されるまで、ボリュームノブを回します。

3. ノブを押して動作を確定します。希望のデバイスを選択します（ノブを回し、ノブを押して確定します）。ラジオにCONNECTING（接続中）と3秒間表示されます。
4. ラジオが接続すると、ラジオにPH CONNECTED（電話機に接続済み）とデバイスの愛称が表示され、Bluetoothアイコンが点滅します。アイコンの点滅は、レシーバが携帯電話機の連絡先のダウンロードを試行していることを示しています（連絡先へのダイヤル機能用）。すべての連絡先のダウンロードが完了するか、ラジオが携帯電話機からの連絡先の受信を時間切れで終わらせると、アイコンの点滅が止まります。ディスプレイにて電話アイコンが有効になります。

デバイスの切離し

ご使用のデバイスが接続済みで、ラジオから切り離す必要がある場合は、次の手順に従います。

1. 電話ボタンを3秒以上押します。Bluetoothメニューが表示されます。
2. ディスプレイにDISCONNECT PH（電話機の切離し）と表示されるまで、ボリュームノブを回します。
3. ノブを押して動作を確定します。少しの間、ラジオにDISCONNECT PH（電話機の切離し）と表示されます。電話機が切り離されると、ラジオにDISCONNECTED（切離し完了）およびBluetoothデバイス名が表示されます。電話アイコンが無効になります。

1つまたはすべてのデバイスの削除

ラジオから以前ペアリングした1つまたはすべてのデバイスを削除するには、次のようにします。

1. 電話ボタンを3秒以上押します。Bluetoothメニューが表示されます。
2. ディスプレイにDELETE PH（電話機の削除）と表示されるまで、ボリュームノブを回します。
3. ノブを押してサブメニューに入ります。
4. ラジオにデバイスのリストが表示されます（ノブを回して操作します）。削除するデバイスを選択するか、ボリュームノブを押してDELETE ALL（すべて削除）を選択し、リストにあるペアリング済みデバイスすべてを消去します。ラジオにPH DELETED（電話機削除完了）と表示されます。

ハンズフリー/Bluetooth機能

ご使用のデバイスが正しくペアリング（“Bluetoothデバイスのペアリング”を参照）および接続（“デバイスの接続”を参照）されると、接続済みのデバイスにハンズフリー機能がある場合、ラジオは次のハンズフリー機能に対応します。

ダイヤルメニュー

このラジオは、デバイスから最近の通話および連絡先の情報を読み出すことができます（デバイスにてハンズフリープロファイルを有効にする必要があり、ユーザがその操作を了解しなければならない場合があります）。

デバイスが通話中でないときに電話ボタンを押すと、ダイヤルメニューにアクセスできます。

ダイヤル/リダイヤル

ユーザは、最近かけた電話番号を取り出して電話をかけることができます。電話ボタンを押すと、最近かけた電話番号がダイヤルされます。

クイックダイヤル

このラジオは、利用可能なプリセットボタンのいずれにも電話番号を保存できます。

電話番号を保存するには、“連絡先にダイヤル”機能または“最近の通話”機能のいずれかを使用して、連絡先を選択します。希望する連絡先の電話番号が表示されたら、電話番号の保存完了を確認するピープ音が聞こえるまで、いずれかのプリセットボタンを押し続けます。

保存した電話番号にダイヤルするには、メニューからQUICK DIAL（クイックダイヤル）を選択し、該当するプリセット番号を選択します。ノブを押して、保存した電話番号に電話をかけます。

プリセットを変更するには、希望する電話番号についてこのプロセスを繰り返すだけです。プリセットが上書きされます。

連絡先にダイヤル

このラジオは、携帯電話機の連絡先を読み込んで表示させることができます。電話ボタンを押してダイヤルメニューを表示し、DIAL CONTACTS（連絡先にダイヤル）が表示されるまでノブを回して、ノブを押してこの機能を選択します。ノブを回して、保存された様々な連絡先（電話機からは最大500件の電話番号、SIMからは250件の連絡先）の中から選択します。挙げられた連絡先にダイヤルする場合、OKボタンを押します。

このラジオは、各連絡先（利用できる場合）から、HOME（ホーム）、WORK（仕事）、MOBILE（携帯）、OTHER（その他）、およびPREFERRED（お気に入り）といった電話番号をダウンロードします。メニュー内にて、電話番号は、H、W、M、O、またはPに加えて10桁の番号（XXXXXXXXXX）で表示されます。

転送に成功すると、ラジオには“連絡先にダイヤル”サブメニューが表示されます。ラジオがご使用の電話機に接続するたびに、“連絡先にダイヤル”サブメニューが更新されるので、必要に応じてこの手動操作を繰り返さなければならない場合があります。

最近の通話

このラジオは、最近の通話10件をリスト表示できません（DIALED（発信）、RECEIVED（受信）およびMISSED（不在着信））。ユーザは、ノブを回して選択した通話リストを操作します。OKボタンを押して電話をかけます。

注記: デバイスが同時に異なるソースに接続されている場合、その機能性は保証されないことに留意してください（デバイスに依存）。例：フロントAUXとBluetooth、あるいはUSBとBluetoothを介して同時に接続されているデバイス。

通話オプション

ハンズフリー通話中は、次のオプションを利用できます。

通話の受信

電話がかかってくると、デバイスがこの機能に対応している場合、ラジオは大きな着信音を再生します。そうでない場合は、着信音の再生中、ユーザは着信音の音量を調整できます。13より低い音量は、次の着信用に適用されません。13以上の音量は、次の着信用に保存されます。

電話がかかってくると、ラジオには発信者の名前（わかる場合）および電話番号が表示されます。電話を受けるには、電話、ノブ、またはNEXT（次へ）のうちいずれかのボタンを押します。

通話の拒否

電話がかかってくると、ラジオには発信者の名前（わかる場合）および電話番号が表示されます。通話を拒否するには、ESC（エスケープ）またはPREV（前へ）ボタンを押します。

通話の終了

ハンズフリー通話中、ラジオには発信者の電話番号および経過時間が表示されます。通話を終了するには、電話、ESC（エスケープ）またはPREV（前へ）ボタンを押します。

マイクのミュート

ハンズフリー通話中、一時停止/再生を押すと、ラジオのマイクがミュートされます。再び押すとミュートが解除されます。

Bluetoothマイク

通話相手の着信オーディオが不明な場合のBluetoothキャプマイクのトラブルシューティング手順



図 16

g06281504

(1) 上矢印

機械オペレータではない通話受信者の音声ボリュームに影響する可能性のある一般的な状況がいくつかあります。

1. Bluetoothマイクの上矢印 (1) が必ず上を向いているか、オペレータの側を向いていない必要があります (図7を参照)。
2. そうなっていない場合は、マイクを取り外して回転させてみて、通話相手の音声ボリュームが改善されるかどうか確認します。

マイクの近くで話しても音声が悪化されない場合は、携帯電話機がラジオに捕捉されていない可能性があります。携帯電話機のマイクに話しかけて音声が改善されたかテストします。

Bluetoothマイクはワイヤレスではありません。ハーネスが損傷しておらず、娯楽用ラジオに接続されていることを確認してください。

注記:国によって利用可能なBluetooth機能は異なります。規制されていない地域の一覧については設計管理にお問い合わせください。

通話の転送

通話中の場合、ラジオの電話ボタンを3秒以上押しすると、その通話が携帯電話に転送され、プライベートな会話ができます。再びハンズフリーモードに戻りたい場合は、このプロセスを繰り返します。

注記:特定の再生可能な範囲を再生中にこれを押すと、新しくUSBが差し込まれたときと同様に、ラジオはトラック1にジャンプして再生を開始します。

Bluetooth通話の出力

音声が出力されない場合に娯楽用ラジオの設定をトラブルシューティングする手順。



図 17

g06281444

Bluetooth通話は左前スピーカー出力からのみ聞くことができます。スピーカー自体がオペレータの背後にある場合があります。この手順は電話機がBluetoothを介してラジオとすでにペアリングされていることを前提としています。Bluetoothデバイスの設定とペアリングの手順については娯楽用ラジオに付属するオーナーズマニュアルを参照してください。

キャブスピーカーから聞こえるBluetooth通話に影響する可能性のある一般的な設定が3つあります。娯楽用ラジオのバランス設定、キャブの配線、ラジオまたは携帯電話機の通話ボリュームです。

1. 最初に、バランス設定が0に設定されていることを確認します (図8を参照)。
2. イグニッションを「ON」位置に回してラジオをONにした状態で、ボリュームノブを2秒以上押し、オーディオコントロールメニューに入ります。
3. 表示される最初の項目はBass 1/8 (低音1/8) です。Balance 5/8 (バランス5/8) が表示されるまでボリュームノブを調節します。
4. 表示されたら、ボリュームノブを押してBalance (バランス) オプションを選択します。Balance (バランス) で0でない設定がある場合は、ボリュームノブを時計回りまたは反時計回りにBalance 0 (バランス0) が表示されるまで回します。ボリュームノブをもう一度押して選択を確定します。

運転操作編 娯楽用，装着の場合

5. 他の設定を調節する場合はメニューがタイムアウトするまで待ってから行ってください。ラジオはメニューに入ったときより前のメディア設定に移動します。

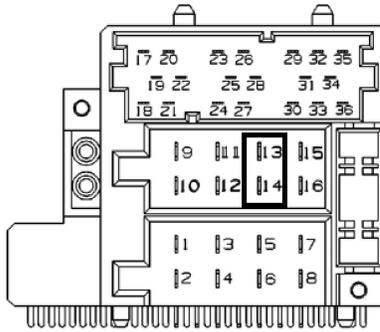


図 18

g06280481

CONNECTOR PINOUT		
PIN	FUNCTION	I/O
1	CAN-HIGH	I/O
2	CAN-LOW	I/O
3	PARK LIGHTS	INP
4	IGNITION	INP
5	POWER ANTENNA	OUT.
6	DIM	INP
7	BATTERY	INP
8	POWER GROUND	INP
9	RR+ (SPEAKER)	OUT.
10	RR- (SPEAKER)	OUT.
11	RF+ (SPEAKER)	OUT.
12	RF- (SPEAKER)	OUT.
13	LF+ (SPEAKER)	OUT.
14	LF- (SPEAKER)	OUT.
15	LR+ (SPEAKER)	OUT.
16	LR- (SPEAKER)	OUT.

図 19

g06281286

配線を点検して、スピーカー出力が正しく接続されていることを確認します。左スピーカーの正しい配線については上の図を確認してください（図9および10を参照）。

上記の設定を確認しても左スピーカーから音声が聞こえない場合は、必要に応じてラジオのボリュームを上げ、電話機の通話ボリュームを確認してください。

Bluetoothオーディオ

Bluetoothプレーヤ

ご使用の接続済みデバイスがこの機能に対応する場合、ラジオへのオーディオソースとして使用でき、ご使用の電話機に保存された音楽ファイルを楽しむことができます。

この機能は、デバイスのデフォルトプレーヤにより使用することを推奨します。接続済みデバイスでサードパーティ製のプレーヤを使用した場合、機能は保証できません。ユーザが電話機内でプレーヤを変更するか操作すると、ラジオとの同期が切れることがあります。

ご使用の電話にある音楽ファイルにアクセスするには、SRC（ソース）ボタンを押してBT AUDIO（Bluetoothオーディオ）を選択します。

BT AUDIO（Bluetoothオーディオ）では、再生、一時停止、NEXT（次へ）、PREV（前へ）、早送り、巻戻し、リピートおよびランダムといったラジオボタンを使用できます。ただし、デバイスがこれらに対応している場合のみです。

注記: デバイスが同時に異なるソースに接続されている場合、その機能性は保証されないことに留意してください（デバイスに依存）。例：フロントAUXとBluetooth、あるいはUSBとBluetoothを介して同時に接続されているデバイス。

注記: トラックの再生が10秒未満の場合、前のトラックへ移動します。10秒より長いと、現在のトラックが先頭から開始されます。

再生/一時停止 - これを押すと、現在のトラックを再生します。再び押すとオーディオが一時停止します。

注記: 特定の再生可能な範囲を再生中にこれを押すと、新しくUSBが差し込まれたときと同様に、ラジオはトラック1にジャンプして再生を開始します。

PREV（前へ） - これを押すと、現在または前のトラックの先頭へ移動します。

注記: トラックの再生が10秒未満の場合、前のトラックへ移動します。10秒より長いと、現在のトラックが先頭から開始されます。

NEXT（次へ） - これを押すと、次のトラックへ移動します。

FF/FR（早送り/巻戻し） - トラックの早送りまたは巻戻しを行うには、Next（次へ）またはPREV（前へ）ボタンを押して保持します。

RDM（ランダム） - これを押すと、トラックがランダムに再生されます。再度これを押すと、シャッフルモードが停止します。この機能がONであるかは、ラジオディスプレイのRDM（ランダム）アイコンで確認できます。

RPT（リピート） - これを押すと、現在のトラックが繰り返されます。再度これを押すと、リピートが停止します。この機能が有効または無効になると、RPT（リピート）アイコンが“ON”または“OFF”になります。

注記:この機能が表示されるのは、携帯電話がこの機能に対応している場合のみです。

注記:ラジオディスプレイに表示される連絡先は、ラジオが使用中の電話デバイスから受信する情報に依存します。

注記:電話機によって機能が異なる場合があります。

注記:一部の携帯電話機は、独自のアプリケーションによってこの機能を有効化する必要があります。有効化の方法に関しては、ご使用の携帯電話機のユーザガイドを参照してください。

注記:一部の電話機では、オーディオが利用できる間、ラジオにBT AUDIO PAUSE (Bluetoothオーディオ一時停止)と表示させるものがあります。このラジオのBluetoothリモートコントロールコマンドに完全に対応していない電話機では、こうなるのが普通です。

注記:一部のデバイスでは、転送が実施されるとBluetoothを切り離します。

ラジオシステム設定

このラジオには、設定用に次の2つのメニューがあります。

- ・ オーディオコントロールメニュー
- ・ ユーザメニュー

これらのメニューは次の項で説明します。

オーディオコントロールメニュー

オーディオコントロールメニューは、ボリュームノブを2秒未満で短く押すと表示されます。

このメニューでは、ユーザは低音、中音、高音、フェード、バランス、自動EQの調整、および時計とアラーム設定の変更ができます。

オーディオコントロールメニューに入ったら、希望のオプションが表示されるまでノブを回し、ボリュームノブを押して選択します。

低音

ディスプレイには、BASS (低音) および現在のレベルが-6 ~ +6の範囲で表示されます。ノブを時計方向13に回すと低音が強くなり、反時計方向に回すと弱くなります。

中音

ディスプレイには、MIDDLE (中音) および現在のレベルが-6 ~ +6の範囲で表示されます。ノブを時計方向に回すと中音が強くなり、反時計方向に回すと弱くなります。

高音

ディスプレイには、TREBLE (高音) および現在のレベルが-6 ~ +6の範囲で表示されます。ノブを時計方向に回すと高音が強くなり、反時計方向に回すと弱くなります。

フェード

ディスプレイには、FADE (フェード) および現在のレベルが-6 ~ +6の範囲で表示されます。音をフロントスピーカ寄りに動かすにはノブを時計方向に、リアスピーカ寄りに動かすにはノブを反時計方向に回します。フェードは、2スピーカモードでは利用できません。

バランス

ディスプレイには、BALANCE (バランス) および現在のレベルがL15 ~ R15の範囲で表示されます。ノブを時計方向に回すと音が右スピーカの方に移動し、反時計方向に回すと左スピーカの方に移動します。

自動EQ

ディスプレイには、現在選択されているオプションが表示されます。ノブを時計方向および反時計方向に回すと、自動EQオプションが1 ~ 7の範囲で循環します。オプションには次のものがあります。

- ・ Pop (ポップス)
- ・ 岩用
- ・ 国名
- ・ News (ニュース)
- ・ Jazz (ジャズ)
- ・ Classical (クラシック)
- ・ 手動

希望のオプションを選択するには、ノブを再び押しします。

時計

ラジオの時間を調整するには、ノブボタンを押してオーディオコントロールメニューを表示させます。ディスプレイにClock (時計) が表示されるまでノブを回し、ノブを押して時計メニューに入ります。

時計メニューに入ると、ノブを回して12時間表示か24時間表示かを選択し、押して確定できます。

最後に、表示形式の設定と確認の後、ノブボタンを押して変更を調整します。

Alarm (アラーム)

アラームを設定するには、押してオーディオコントロールメニューに入り、Alarm (アラーム) を選択して、ノブを押します。アラームメニューに入ったら、ノブを回してALARM ON/OFF (アラームON/OFF) に変更し、ノブを押して選択します。ユーザが“ALARM ON” (アラームオン) を選択すると、アラームアイコンが“ON” に設定され、次の設定オプションが表示されます。

時間

アラームの“時”の数字が点滅し始めます。表示形式は、現在の時計の選択と同一です (12または24時間モード)。ノブを回して“時”を変更し、ノブを押して“時”を確定します。その後、アラームの“分”の数字が点滅し始めるので、変更して選択を確定します。

音色設定または音楽設定

ノブを回してノブを押し、SET TONE (音色設定) またはSET MUSIC (音楽設定) に変更します。

容積

音色を選択すると、音量をLow (低), Mid (中), およびHigh (高) の間で変更できます (音色の音量を設定中は音が鳴りません)。音楽を選択したら、音量を0 ~ 30で調整します。

音声が出力されない

音声が出力されない場合に娯楽用ラジオの設定をトラブルシューティングする手順。

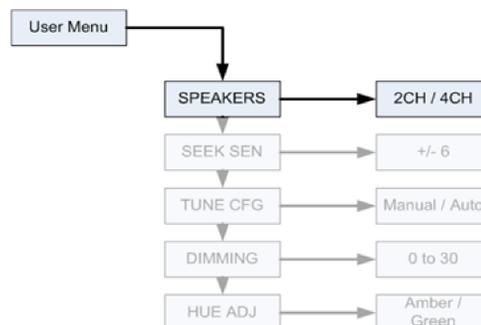


図 20

g06281344



図 21

g06281348

音声が出力されない場合に最もよく見られる問題は、リア設定にフェードが設定されていることです。スピーカーがオペレータの背後に設置されている場合でも、すべてのキャブは娯楽用ラジオのフロントスピーカー出力を使用しています。この問題は、ラジオが4チャンネルスピーカーモードになっているか確認することで解決できます。フェードオプションは2チャンネルスピーカーモードの場合には表示されません。

1. イグニッションを「ON」位置に回してラジオをONにした状態で、ボリュームノブを2秒以上押し、ユーザーメニューに入ります (図12を参照)。

2. これにより，Speaker（スピーカー）オプションが表示されます。ボリュームノブを短く押すと，Speaker 2CH（スピーカー2チャンネル）またはSpeaker 4CH（スピーカー4チャンネル）のいずれかになります。
3. ボリュームノブを時計回りまたは反時計回りに，Speaker 4CH（スピーカー4チャンネル）が表示されるまで回します。ボリュームノブをもう一度押して選択を確定します。
4. 他の設定を調節する場合はメニューがタイムアウトするまで待つてから行ってください。ラジオはメニューに入ったときより前のメディア設定に移動します。

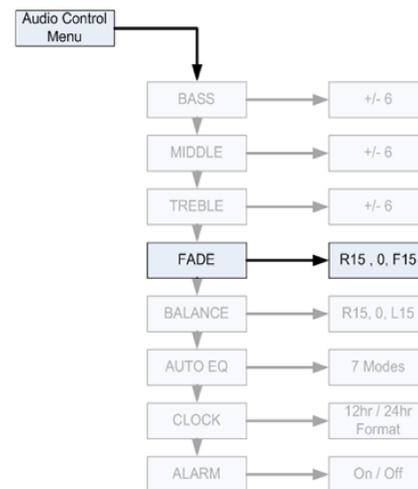


図 22

g06281353



図 23

g06281360

次に、フェード設定が0に設定されていることを確認します（図14を参照）。

1. イグニッションを「ON」位置に回してラジオをONにした状態で，ボリュームノブを2秒以上押し，オーディオコントロールメニューに入ります。
2. メニューに表示される最初の項目はBass 1/8（低音1/8）です。Fade 4/8（フェード4/8）が表示されるまでボリュームノブを調節します。

- 表示されたら，ボリュームノブを押してFade（フェード）オプションを選択します。Fade（フェード）で0でない設定がある場合は，ボリュームノブを時計回りまたは反時計回りにFade 0（フェード0）が表示されるまで回します。ボリュームノブをもう一度押して選択を確定します。
- 他の設定を調節する場合はメニューがタイムアウトするまで待ってから行ってください。ラジオはメニューに入ったときより前のメディア設定に移動します。
- これが原因だった場合，ボリュームを調節してステーションまたはメディアデバイスを選択すれば，オーディオが聞こえるようになるはずです。
- ラジオをSpeaker 2CH（スピーカー2チャンネル）に戻してフェードオプションを隠し，このオーディオの問題が再発しないようにします。図2と下記の手順を参照してください。

アラームのオフ

アラームを有効にした場合，アラームをキャンセルするには，プリセット3ボタンを短く押します。アラームをオフにしないでいると，この操作は63分後に自動的に切れます。

スヌーズの有効化

アラームを“SNOOZE”（スヌーズ）させるには，アラームが鳴ったときに，プリセット3以外のいずれかのボタンを2秒以内で短く押します。“SNOOZE”（スヌーズ）が3秒間表示され，アラームが9分間延期されます。

ユーザメニュー

ユーザメニューは，ボリュームノブを2秒以上押すと表示されます。

このメニューでは，ユーザは次のオプションを設定できます。

- ・ スピーカ
- ・ シーク感度
- ・ 再生設定
- ・ 照度低下
- ・ カテゴリの有効/無効
- ・ カラー調整

モデルによって利用可能なオプションは異なります。次の項の制限事項を参照してください。

ユーザメニューに入ったら，希望のオプションが表示されるまでノブを回し，ボリュームノブを押して選択します。

スピーカ（SPEAKERS）

ディスプレイには，SPEAKERS（スピーカ）および現在選択されているオプションが表示されます。このサブメニューでは，スピーカを2チャンネルか4チャンネルに変更できます。ノブを回して，2CH（2チャンネル）または4CH（4チャンネル）に変更し，ノブを押して希望のオプションを選択します。

シーク感度（SEEK SEN）

ディスプレイには，SEEK SENS（シーク感度）および現在のレベルが-2～+2の範囲で表示されます。ノブを時計方向に回すとシーク感度が高くなり，反時計方向に回すと低くなります。ノブを押して希望のオプションを選択します。このオプションは，ラジオがチューナモードを再生しているときだけ利用できます。

チューナ設定（TUNE CFG）

ディスプレイには，TUNE（チューナ）および現在選択されているオプション，AUTO（オート）またはMANUAL（マニュアル）が表示されます。ノブを回して，AUTO（オート）またはMANUAL（マニュアル）に変更し，ノブを押して希望のオプションを選択します。

再生設定（PLBK CFG）

このメニューでは，ユーザはNEXT（次へ）およびPREV（前へ）ボタンの設定を選択できます。ディスプレイには，現在選択されているオプション，SEEK（シーク）またはFAST F/F（高速F/F）が表示されます。ノブを回して，SEEK（シーク）またはFAST F/F（高速F/F）に変更し，ノブを押して希望のオプションを選択します。このオプションは，ラジオがCD，USB，またはiPodモードを再生しているときだけ利用できます。

照度低下

車両がCANまたはアナログ設定で照度低下を使用している場合，ディスプレイにDIMMING 0（照度低下0）と表示されます。この値は，-10～+10の範囲で調整できます。そうでない場合，ディスプレイにはDIMMING（照度低下）と現在選択されているレベルが0～30の範囲で表示されます。ノブを時計方向に回すと照度低下が大きくなり，反時計方向に回すと小さくなります。

カテゴリの有効/無効（CAT E/D）

ディスプレイには，現在の選択に応じてCAT ENABLE（カテゴリ有効）またはCAT DISABLE（カテゴリ無効）と表示されます。ノブを回して，2つのオプションの間で変更し，ノブを押して選択を確定します。このオプションは，SXMモードでのみ利用できます。

カラー調整 (HUE ADJ)

ラジオで利用できるカラーに応じて、ディスプレイには次のオプションのいずれかが表示されます。

- ・ AMBER (橙色) またはGREEN (緑色)
- ・ RED (赤色) またはBLUE (青色)

ノブを回して、2つのオプションの間で変更し、ノブを押して選択を確定します。このオプションは、デュアルカラーを装備したモデルでのみ利用できます。

オーディオプレーヤ (CDプレーヤ)

このプレーヤは、CDまたはMP3オーディオに使用できます。

車両がオンの状態で、ラベルを上にしてCDをスロットに差し込みます。プレーヤがCDを吸い込み、再生を開始します。

このシステムでは、次のものを再生できます。

- ・ ほとんどのオーディオCD
- ・ CD-R
- ・ CD-RW

MP3またはプロテクトなしのWMA形式。

対応する記録可能ディスクを再生すると、ディスクの品質、記録方式、記録されている音楽の品質、またはディスクの取り扱い方によって、音質が低下する場合があります。

音飛び、トラック記録やトラック検出の障害、および/またはローディングやイジェクトの障害が発生する恐れがあります。

こうした問題が発生した場合は、ディスクに損傷がないかどうか点検し、既知の良好なディスクを試してください。

CDプレーヤの損傷を回避するには

次の対応を推奨します。

- ・ すり傷や損傷があるディスクを使用しない。
- ・ ディスクにラベルを貼らない (ラベルがプレーヤに引っかかる恐れがあります)。
- ・ 差し込むディスクは1回に1枚のみ。
- ・ ローディングスロットに異物、液体、ごみを付けない。
- ・ ラベルは、マーキングペンを使用してディスクの上面に記入。

ディスクのローディングおよびイジェクト

ディスクをローディングするには次のようにします。

- ・ 車両をオンにします。
- ・ ラベル側を上にして、ディスクをスロットに差し込みます。残りの行程はプレーヤが吸い込みます。ディスクが損傷しているか不適切にローディングされた場合は、画面にエラーが表示され、ディスクがイジェクトされます。

ローディングされると、自動的にディスクが再生されます。

“イジェクト”を押すと、ディスクがCDプレーヤからイジェクトされます。ディスクが短時間のうちに取り出されない場合、自動的にプレーヤ内に引き戻されます。

オーディオCDの再生

オーディオCDを再生するには、次の手順を実施します。

1. SRC (ソース) ボタンを使用して、CDソースを選択します。
2. ラジオがCDの再生を開始し、トラック番号、曲、アーティスト、経過時間、およびアルバム情報があれば表示します。

次のコントロールを使用してディスクの再生を行います。

PREV (前へ) - これを押すと、現在または前のトラックの先頭へ移動します。

注記: トラックの再生が10秒未満の場合、前のトラックへ移動します。10秒より長いと、現在のトラックが先頭から開始されます。

NEXT (次へ) - これを押すと、次のトラックへ移動します。

FF/FR (早送り/巻戻し) - トラックの早送りまたは巻戻しを行うには、Next (次へ) またはPREV (前へ) ボタンを押して保持します。

RDM (ランダム) - これを押すと、トラックがランダムに再生されます。再度これを押すと、シャッフルモードが停止します。この機能がONであるかは、ラジオディスプレイのRDM (ランダム) アイコンで確認できます。

RPT (リピート) - これを押すと、現在のトラックが繰り返されます。再度これを押すと、リピートが停止します。この機能が有効または無効になると、RPT (リピート) アイコンが“ON”または“OFF”になります。

SCAN (スキャン) :

- ・ 短く押すと、現在再生中の部分をスキャンし始めます。
- ・ 長く押すと、トラック1からデバイス全体をスキャンします。

上のフォルダ（MP3 CDの再生時のみ利用可）

これを押すと次のフォルダが選択されます。特定の再生可能な範囲を再生中にこれを押すと、新しくUSBが差し込まれたときと同様に、ラジオはトラック1の再生を開始します。

下のフォルダ（MP3 CDの再生時のみ利用可）

これを押すと前のフォルダが選択されます。特定の再生可能な範囲を再生中にこれを押すと、新しくUSBが差し込まれたときと同様に、ラジオはトラック1の再生を開始します。

エラーメッセージ

“Disc Error”（ディスクエラー）メッセージの表示および/またはディスクの排出が発生する場合は、次の理由のいずれかが該当する可能性があります。

- ・ ディスクのフォーマットが無効または不明です。
- ・ ディスクが高温です。常温に戻ってから再試行します。
- ・ 路面が荒れています。路面が滑らかな時にディスクを再試行します。
- ・ ディスクが曲がっています。
- ・ ディスクに汚れ、すり傷、濡れがあるか、裏返しです。
- ・ 湿度が高くなっています。時間をおいてディスクを再試行します。
- ・ ディスク作成時に障害がありました。
- ・ ラベルがCDプレーヤに引っかかっています。
- ・ 他の理由でディスク再生が正常でない場合、既知の良好なCDで試してみます。
- ・ エラーが続く場合、最寄りのディーラに連絡してください。

MP3

MP3 CDの再生：

MP3 CDを再生するには、“オーディオCDの再生”と同じ説明に従います。

MP3ディスク作成の際は、次のガイドラインを満足する必要があります。そうでない場合、再生できない可能性があります。

MP3ファイルの場合：

- ・ ビットレート：32, 40, 48, 56, 64, 80, 96, 112, 124, 160, 192, 224, 256, 320 kbps（MPEG-1 Audio Layer 3）
- ・ サンプリング周波数：32, 44.1および48 kHz（MPEG-1 Audio Layer 3）
- ・ 最大フォルダ数：8フォルダ。各フォルダに255ファイルまで
- ・ 1つのディスクに最大1,000ファイル
- ・ M3UおよびPLSプレイリストの各バージョンに対応
- ・ 容量700 MBのCD-RまたはCD-RWへの記録。

プロテクトなしのWMAファイルの場合

- ・ バージョン：1, 2, 7, 9および9.1
- ・ ビットレート：32 ~ 320 kbps
- ・ サンプリング周波数：32 ~ 48 kHz

ミュージックナビゲーションCD MP3およびUSB

CD, MP3, またはUSBソースが有効な状態で拡大鏡（プリセット2）ボタンを押し、CD MP3/USBミュージックメニューにアクセスします。

ボリュームノブまたはNext/Prev（次へ/前へ）ボタンを使用して、種々のオプションを操作します。

このラジオには2つのオプションがあります。

フォルダモード

ボリュームノブを押すと、ディスクに保存されているフォルダが表示されます。フォルダを選択して、そのフォルダに入っている全曲のリストを表示させます。リストが表示されるまで、時間がかかる場合があります。リストから1曲選択して再生を開始させます。

最大5層のフォルダ構造に対応しています。アルファベット順にフォルダ、続いて曲が表示されます。

このモードでは、最初にフォルダが、最後にそのフォルダのトラックが表示されます。

プレイリストモード

ボリュームノブを押すと、ディスクに保存されているプレイリストが表示されます。プレイリストを選択すると、現在選択中のプレイリストの最初のトラックの再生が開始されます。リストが表示されるまで、時間がかかる場合があります。

特別な留意事項

ルートディレクトリ:

ルートディレクトリは、1つのフォルダとして扱われます。ルートディレクトリ内のフォルダより先に、ルートディレクトリに直接入っているすべてのファイルにアクセスします。

空のフォルダ

ルートディレクトリまたはフォルダが空の場合、またはフォルダのみ含む場合、プレーヤは、ファイル構造内の圧縮オーディオファイルを含む次のフォルダに進みます。空のフォルダは表示されず、番号も付けられません。

ヒューズ

ラジオのヒューズは、車両のヒューズボックス内にあります。

最適なヒューズの値は10A ~ 15Aです。

ヒントおよびトラブルシューティング チャート

ラジオ:

放送局にチューニングできません。

- ・ 電波が弱い地域にいます。
- ・ シーク感度を高くします（詳細は、“シーク感度”の項を参照）。

CD:

CDプレーヤが機能しません。

CDプレーヤが作動範囲外になっている可能性があります。CDの作動温度は-20° C (-4° F) ~ 55° C (131° F)です。

状況に応じて、車両の室温を高くするか低くしてください。

CDを差し込めません。

- ・ CDプレーヤにすでにCDが入っています。
- ・ CDをイジェクトして取り出します。

iPod

iPodが再生しないか、音が出ません。

iPodが認識されていません。

- ・ 対応するiPodであることを確認します。
- ・ 対応するiPodの場合、iPodをリセットして再び接続します（詳細は、iPodの項を参照）。

iPodが機能しません。

iPodが作動範囲外になっている可能性があります。iPodプレーヤの作動温度は-20° C (-4° F) ~ 85° C (185° F)です。

車両の室温を高くするか低くして、人が耐えられる範囲にしてください。

Bluetooth

ラジオがBluetooth対応デバイスを認識しません。

次のうちいずれかの措置を試行します。

- ・ デバイスを取り外し、その後、そのデバイスをペアリングおよび接続します。“1つまたはすべてのデバイスの削除”、“Bluetoothデバイスのペアリング”、および“デバイスの接続”の各項を参照してください。
- ・ デバイスがオンになっていることを確認します。
- ・ ご使用のラジオのBluetoothアダプタが有効になっていることを確認します。“Bluetoothの有効化/無効化”の項を参照してください。
- ・ デバイスが圏外にある可能性があります。もっと近くに移動させてみます。

デバイスとラジオが通信しません。

次のうちいずれかの措置を試行します。

- ・ 接続したいデバイスを正しく選択していることを確認します。例えば、以前にペアリングしたデバイスを2つ以上持っている可能性がありますので、正しいデバイスを選択していることを確認します。
- ・ デバイスによっては、ラジオに接続する前にパスワードが必要な場合があります。
- ・ おそらく、入力したパスワードが間違っていたか、パスワードを入力している間に時間切れになっています。“デバイスの接続”の項を参照してください。
- ・ デバイスが電波を使用する他のデバイス（電子レンジ、コードレスフォン、電子機器や照明のリモコン、または802.11無線ネットワーク）の近くにある場合、そうしたデバイスによる干渉が生じている可能性があります。作動しないデバイスを他のデバイスから遠ざけてみてください。

デバイスの音楽が聞こえません。

- ・ デバイスがペアリングおよび接続されていることを確認します。“Bluetoothデバイスのペアリング”および“デバイスの接続”の各項を参照してください。

- ・ ソースリストメニューにてBT AUDIO SRC (Bluetoothオーディオソース) が選択されていることを確認します。PWR SRC (電源, ソース) ボタンの項を参照してください。
- ・ ノブを回してラジオのボリュームを調整します。
- ・ ご使用のデバイスが一時停止になっていないことを確認します。
- ・ ご使用のデバイスに音楽ファイルがあることを確認します。

リアシートオーディオ (RSA, Rear Seat Audio)

RSAにリンクなしと表示されます。

このラジオは起動に最大15秒かかるため、RSAを使用してラジオを起動し、ラジオがスリープモードに入っていると、ラジオを起動している間、RSAには“No-link” (リンクなし) と表示されます。この時間の経過後、通信は再び確立されます。

登録商標およびライセンス契約

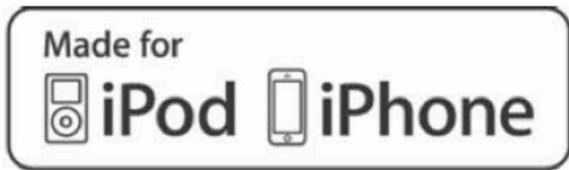


図 24

g06229251

“Made for iPod”および“Made for iPhone”は、電子アクセサリがiPodまたはiPhoneへの接続専用に設計され、Appleの性能基準に適合していることを開発者が保証したことを示しています。

iPod, iPodTouch, およびiPhoneは、Apple Computer, Inc. の米国 およびその他の国々における登録商標です。

SiriusXM



図 25

g06229256

“SiriusXM”は、このラジオがSiriusXMの基準に適合するように設計され、適合が保証されたことを示しています。

SiriusXMは、SiriusXM Companyの米国における登録商標です。

FCC情報

このラジオは、Federal Communications Commission (FCC, 連邦通信委員会) 規則のパート15および Industry Canada (カナダ産業省) の基準, RSS-GEN/210/220/310に適合しています。

索引

英数字

安全について.....	2
安全上の基本的注意事項.....	5
Introduction.....	5
運転準備.....	5
警告および遵守.....	5
前書き.....	5
注意.....	5
注意事項.....	5
運転操作編.....	9
作動.....	9
車両の一般情報.....	6
車両識別情報.....	6
順守宣言.....	7
順守宣言.....	8
法規制の順守.....	6
FCCに関する注意事項.....	6
FCC情報.....	6
改造に関する声明.....	6
放射線被ばく.....	6
無線周波数範囲.....	6
目次.....	3

は

はじめに.....	4
サービス資料の内容.....	4
安全について.....	4
作動.....	4
保守整備編.....	4

ら

ラジオ (娯楽用, 装着の場合).....	9, 24
Introduction.....	9, 24
ステレオレシーバ.....	9, 24

製品および特約代理店情報

注記：製品識別プレート取り付け位置に関しては、「取扱説明書」の製品識別情報をご参照ください。

納品日： _____

製品情報

機種： _____

製品識別番号： _____

エンジン・シリアル番号： _____

トランスミッション・シリアル番号： _____

発電機シリアル番号： _____

付属装置シリアル番号： _____

付属装置情報： _____

顧客装置番号： _____

特約代理店装置番号： _____

特約代理店情報

店名： _____ 支店： _____

住所： _____

特約代理店連絡先

電話番号

営業時間

販売： _____

部品： _____

整備： _____



M0086999
©2018 Caterpillar
全権留保

CAT、CATERPILLAR、それらの各ロゴ、"Caterpillar Yellow"およびPOWER EDGEのトレード・ドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。